

平成 30 年度決算に係る

定期監査
決算審査
調書

令和元年 7 月

鳥取県立博物館

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	2 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	決算調書（総括表）	19 頁
8	事業別実施状況調べ	20 頁
9	予備費の充用調べ	21 頁
10	繰越関係調べ	21 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	22 頁
12	収入事務処理状況調べ	22 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	23 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	23 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	23 頁
16	債務負担行為の状況調べ	24 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	25 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	29 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの） ..	29 頁
19	財産に関する調べ	30 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	

(4) 債権	
20 財産の貸付及び使用許可調べ	32 頁
(1) 土地及び建物	
(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
21 借受不動産明細調べ	34 頁
22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	34 頁
(1) 職員住宅	
(2) 職員駐車場	
23 寄附物件の受納状況調べ	35 頁
24 備品の処分状況調べ	36 頁
25 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	36 頁
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
(2) 物品の照合	
26 貸付金等状況調べ	36 頁
(1) 総括表	
(2) 償還状況	
27 博物館運営	37 頁
28 博物館資料保有状況	52 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
【口頭指摘】 3 文化芸術の振興に向けた若年層の参画について 県民・地域が文化芸術によって豊かになっていく社会を実現するためには、幅広い世代による参画が必要です。県では、「とりアート」「鳥取県美術展覧会」「とっとり伝統芸能まつり」など様々な催しを展開していますが、いずれも若い世代の参画割合が高いとは言えないのが現状であり、次世代を担う人材育成や文化芸術に関心を持ってもらうための取組を今後も積極的に行うべきであります。	博物館では、現在、毎週土曜日に開催しているワークショップの中で、子ども向けワークショップを開催しているほか、学校での県立博物館の美術コレクションの展示解説を行う「コレクション宅配便」を開催するなど、子ども達をはじめとして、より多くの方に鳥取県の美術コレクションに親近感と関心を持っていただくための取組を行っており、今後も継続していきます。 さらに、新たな県立美術館の特色として、「美術ラーニングセンター」の機能を設けることとしており、子どもたちの美術を通じた学びへの支援を学校教育と連携して行うこととしています。 なお、新美術館開館は数年先となるため、現在は、デジタルコンテンツの試行や教職員向け研修、小学生招待などにより、美術館活動の効果を先行して波及させる取組を行っているところであり、新美術館開館時には学校教育との連携をさらに進めていきたいと考えています。

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
総 務 課	—	・博物館の施設の管理に関すること ・博物館協議会に関すること ・予算、決算、その他の庶務に関すること
美術館整備準備室	—	・美術館整備に関すること
学 芸 課	自然担当	・博物館資料（美術関係の資料を除く）に係る資料の収集、保管、展示、利用、普及及び調査研究に関すること ・博物館改修に関すること
	人文担当	
	普及担当	
美術振興課	調査担当	・美術関係の資料の収集、保管、展示、利用、普及及び調査研究に関すること
	美術担当	

4 職員の定員、現員調べ

(平成31年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	30.4.1 現在	当該 年度	30.4.1 現在	当該 年度	30.4.1 現在	当該 年度	30.4.1 現在	
定 員	9	9	18	18	0	0	27	27	
現 員	(1) 10	(1) 11	() 17	() 16	() 0	() 0	(1) 27	(1) 27	・育児休業:事務職員1名 ・技術職員(学芸員)△1
過不足(△)	1	2	△1	△2	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	4	4	41	47	3	3	48	54	〈博物館〉 ・事務4名(一般事務2名、事務補助1名、複写機オペレーター1名) ・技術41名(史料補修専門員3名、資料管理専門員1名、昆虫標本専門員1名、地学標本専門員1名、広報・普及専門員1名、受付5名、看視員29名) ・現業(警備員3名)

5 役付職員の調べ

(令和元年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
館長	田中 規靖	2	3	教育委員会 理事監
副館長兼美術振興課長	尾崎 信一郎	0	3	教育委員会 参事監 継続勤務期間13年6月
副館長兼学芸課長	上山 憲二	1	3	
総務課長	藤原 浩	1	3	出納員
美術館整備準備室長	漆原 芳彦	2	3	継続勤務期間4年
総務課課長補佐	岩尾 聖	2	3	
総務課課長補佐	奥田 克浩	3	3	
主幹学芸員	川上 靖	8	3	継続勤務期間19年3月
主幹学芸員	福代 宏	5	3	継続勤務期間26年3月
主幹学芸員	清末 幸久	6	3	
主幹学芸員	三浦 努	7	3	継続勤務期間17年3月

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	そ の 他	一般財源
企画展開催費	87,856		8,835	79,021
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概 要)

鳥取県に関わりのある自然、歴史・民俗、美術並びに国内外の博学・美術の魅力を広く県民に紹介する企画展を開催した。

【大いなる神仏の山 大山—その歴史と民俗—】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

予算額	決算額	同左財源	
		入館料等収入	一般財源
21,524	21,444	3,798	17,646

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・2018年(平成30)は、大山が開山されたという養老2年(718)から1300年に当たる。大山寺や大神山神社が所蔵する重宝を中心に、全国に点在する大山関係資料を一堂に展示した。あわせて初公開となる大山寺中興の祖・豪円関係資料も紹介した。

(イ) 事業の実施状況

- ・伯耆国「大山開山1300年祭」事業の一環として、企画展終了後の7月29日(日)から8月26日(日)までは、平成30年度米子市美術館特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」の第2展示室において、「大山の重宝」と題して大山寺、大神山神社、個人所蔵の資料を巡回展示した。
- ・また、館蔵資料を中心に県内二町の施設で大山信仰に関わる移動展示を行った。

会 期	入館者数	目標
平成30年6月2日(土)～7月1日(日) [29日間(6月18日(月))]	2,593人	4,000人
平成30年7月29日(日)～8月26日(日) [25日間(毎週水曜日)]	4,480人	—

※うち有料入館者数：1,612人(入館者数の62.2%) ※鳥取県立博物館分

<入館者の地域別割合> アンケート回答者※会場は鳥取県立博物館

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	101	14	28	29	0	172
割合[%]	58.7	8.1	16.3	16.9	0	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
ギャラリートーク(6/3)	42人
民俗講座「大山と地藏菩薩」(6/3)	38人
講演会『大山寺縁起』が語るもの(6/10)	73人
歴史と民俗を訪ねる会 in 大山(6/17)	11人
ギャラリートーク(6/24)	48人
歴史講座「大山の仏教美術」(6/24)	54人
ギャラリートーク(8/18)※米子市美術館	92人

移動博物館（名和公民館11/1～11）	65人
移動博物館（江府町防災・情報センター11/15～25）	160人

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・展示内容の工夫として、入口に大型の仏像（不動明王坐像）を展示して間近に鑑賞していただけるようにし、あわせて撮影及びSNS等発信を可能にした。
- ・マスコットキャラクター みつまさくんの制作と活用（①～④）
- ・屋外の階段に伯耆国「大山開山1300年祭」の広報用のぼり旗を設置した。
- ・体験コーナーとして、牛供養田植の衣装を身につけて写真撮影する区画を設けた（体験コーナーは鳥取会場のみ）。

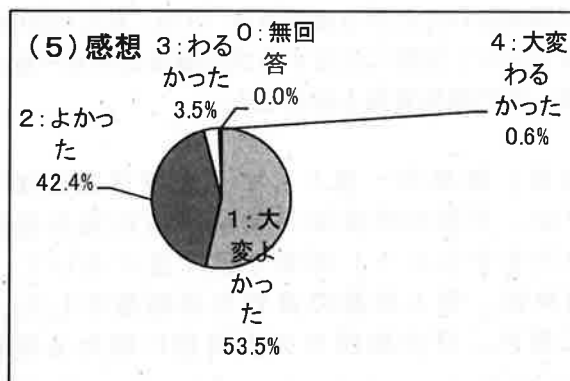
ウ 成果及び効果

- ・報道機関（テレビ局）との実行委員会形式による企画展で、数多くのTVスポットなどによる広報効果があった。
- ・前売り券発売時（5/14）、開幕時（6/2）のFBのアクセスが多かった。
- ・米子会場では、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会と連携して行い、開幕時（7/29）とギャラリートーク時の（8/18）の参加者は約100人であった。

<入館者の満足度>アンケートから回答より

① 展覧会満足度

- ・「大変よかった、よかった」の回答が全体の約95.9%と、入館者の高い満足度を示した。



② 感想（主なもの）

- ・身近ながら知らないことが多かった、字が大きくて見やすかった。
- ・仏像をゆっくり拝むことができました。
- ・本県の歴史に触れる機会が少ない中であって大山の歴史と信仰、民俗を素晴らしい展示で知ることができました。
- ・大山＝登山というイメージしかなかったので、神と仏が混在する山である、ということがわかってよかった。
- ・展示がすっきりして、解説も適切です、知らなかったことをたくさん知ることが出来て満足です。
- ・撮影可能コーナーは、友人にメッセージ送れるので、とても良い。
- ・学生はワンコインで見ることができてうれしい。

エ 課題

- ・巡回展や移動博物館についても、（借用資料、普及事業を含めて）鳥取展の規模で実施できたら、より好評であったらと思う。
- ・歴史・民俗の展示にあわせて、大山の絵画や写真展など調整できれば面白かった。

【とっとりの化石EXPO! 2018】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

予算額	決算額	同左財源	
		入館料等収入	一般財源
21,409	21,373	2,665	18,708

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・鳥取県には、鳥取市国府町宮下の魚類化石、鳥取市佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石、日野郡日南町多里の貝類化石など全国的にも有数の化石産地が存在し、生物進化の解明や古環境の復元に貢献してきた。本企画展では、鳥取県内の代表的な化石産地を中心に、産出した化石や古環境を紹介し化石産地としての鳥取県を再認識・再評価する。そして、この展示を通じて新たな課題を共有し、鳥取県の化石研究の“これから”を展望する。

(イ) 事業の実施状況

- ・日野郡日南町で巨大ザメ・メガロドンの歯化石が見つかり、メガロドンの顎化石模型や実物大復元イメージ画をはじめ、辰巳峠植物化石群（佐治町辰巳峠）や宮下魚類化石群（国府町宮下）など、鳥取県から産出した化石を中心に約500点の資料を紹介した。

会 期	来場者数	目標
平成30年7月14日（土）～8月26日（日） [44日間（会期中無休）]	11,873 人	8,750 人

※うち有料入館者数：4,668人（入館者数の39.3%）

<来場者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	253	52	50	127	4	486
割合[%]	52.1	10.7	10.3	26.1	0.8	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
ギャラリートーク（7/15, 8/12, 8/26）	計130人
映画上映会「谷田部透湖監督作品「木の葉化石の夏」」 （7/15, 8/12, 8/26）	計405人
自然講座「化石レプリカをつくろう！」（7/22）	24人
美術ワークショップ「化石でフロッタージュ！」（7/28）	8人
特別講演会「世界の魚類化石：シーラカンズから国府町宮下まで」 （7/29）	70人
自然講座「地層のでき方大実験！」（8/4）	64人
自然講座「みて！さわって！ホネを楽しもう！」（8/5）	22人
野外観察会「化石をさがせ！in 春米」（8/11）	31人

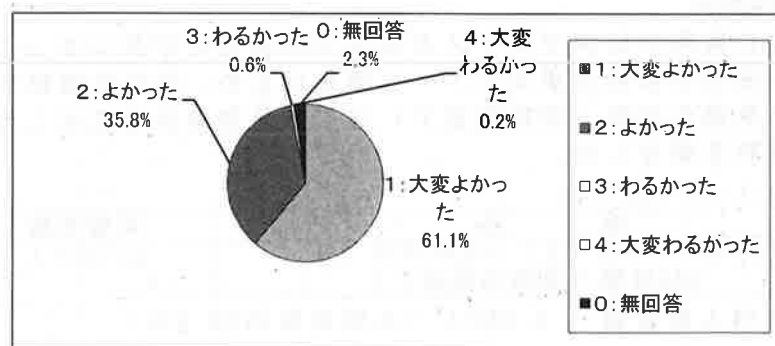
イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・「鳥取県の化石」に重点を置いた展示構成・会場レイアウトを展開した。
- ・約500点（県内産約350点、県外産約150点）の実物化石を展示した。
- ・メガロドンの顎化石模型や復元イメージ画をフォトスポットとした。
- ・開放的な展示レイアウトを活用したクイズラリーを実施した。さまざまな年齢層に対応させるため初級、中級、上級クイズを作成し、来場者に対して積極的に参加を呼びかけ、来場者が遊びながら学べるよう工夫した。
- ・屋内・野外講座、特別講演会、映画上映会など、多岐に渡る関連行事を毎週開催した。

- ・体験コーナーとして化石タッチングコーナーを設置した。
- ・積極的にホームページや Facebook に情報を公開した。
- ・オリジナルグッズ（クリアファイル 3 種）を製作し、販売した。
- ・スマートフォン等アプリケーション「ポケット学芸員※」の運用を実施した。
※スマートフォンにこのアプリをインストールし、アプリを通じて博物館や展覧会の情報を得られる、というものである。
- ・オリジナルマグネットを製作し「オリジナルマグネット引換券※」を配布した。
※展示解説を要する団体来場者のうち、高校生以下の児童・生徒に引換券を配布し、後日来場時に引換券を受付に提出いただければオリジナルマグネットをプレゼントする、というものである。団体来場者に個人来場してもらうことが狙いである。
- ・のぼり旗を入口に 5 本設置した。

ウ 成果及び効果

- ・来場者アンケートでは、「大変よかった」「よかった」が 9 割以上を占め、満足度が高かったことが示された。



- ・来場者アンケートでは「鳥取にもすばらしい化石があることがわかりました」「珍しいものがたくさん見ることができた」「鳥取でこんなに化石が発掘されているとは知らなかった」「住んでる地域の化石が見れてよかった」などの肯定的な声が多く寄せられた。
- ・クイズラリーが特に好評で、子どもから大人まで熱心に取り組んでいた。「クイズ付きでじっくり観察できました」「クイズがあったことでよりじっくり見る事ができた」「クイズが楽しかった」などの来場者アンケートから、展示内容のより深い理解につながったことが示された。
- ・化石タッチングコーナーも好評で、「化石にさわる機会がないのでさわられてよかった」「質感が分かり大変よかった」などの意見を頂いた。
- ・来場者数は目標値を大きく上回った。

エ 課題

- ・本展をきっかけに、一般の方の化石コレクションや化石産地についての新情報を得ることができた。本展に終わらず、今後も継続して鳥取県の化石の魅力や新知見を発信していく必要がある。
- ・ポケット学芸員について、来場者アンケートでは得られた意見が少なかった。「わかりやすかった」という意見の一方、「音声が見きたい」「実施方法がわからない」などの意見もあった。企画展の内容・目的に合わせて慎重な検討をする必要である。
- ・オリジナルマグネット引換券は約300枚を配布したが、引換えが実施されたのは7枚だけであった。意見を得ることができなかったので詳細な要因は不明であるが、再度来場したくなる展示や欲しくなる商品の検討が必要であると考えられる。

【鳥取画壇の祖 土方稲嶺 ―明月来タリテ相照ラス―】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

予算額	決算額	同左財源	
		入館料等収入	一般財源
22,065	21,894	1,832	20,062

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・江戸時代の鳥取画壇を代表する土方稲嶺（1741～1807）の画業をあらためて一望する。
- ・県内外の美術館や寺社、個人所蔵家からも多数の優品を借用して、地元の稲嶺ファンの期待に応える。
- ・稲嶺と同時期に京都で活動した現代でも人気の高い円山応挙や伊藤若冲の作品も紹介して主に西日本エリアの根強い日本画ファンの期待に応える。
- ・受贈後に修復を行い、平成30年度の秋に鳥取県指定保護文化財となった土方稲嶺筆「旧興国寺書院障壁画」の修復後初の展示公開を、書院の空間を再現した迫力ある空間で行う。

(イ) 事業の実施状況

- ・当館所蔵品および県内外からの借用作品計128件（206点）を、第1～第3特別展示室および1階美術常設展示室にて一堂に紹介し、見応えのある展示空間を創出した。
- ・当館と地元テレビ局とで実行委員会を組織して運営を行った。そのため、CMや情報番組での生中継など、テレビ媒体を通じた広報が大々的に実施できたほか、博物館、テレビ局それぞれのホームページで積極的な広報を行ったことにより、幅広い層に展覧会を周知することができた。
- ・新美術館建設に向けた取り組みの一つとして、小学校を対象としたバス招待事業を行い、東中西各地から7つの小学校（327名）が来館したほか、11校の小中高校生546名が来館した。

会 期	入館者数	目標
平成30年10月6日（土）～11月11日（日） [36日間（10月22日のみ休館）]	4,655 人	6,000 人

※うち有料入館者数：2,252人（入館者数の48%）

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	362	50	23	85	4	524
割合[%]	69.1	9.5	4.4	16.2	0.8	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
ギャラリートーク（10/6・11/13）	54 人
特別講演会（狩野博幸氏 10/13・安村敏信氏 10/20）	105 人
スペシャルギャラリートーク（金子信久氏 10/27）	62 人
アートレクチャー「掛軸を巻いてみよう！」	14 人

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・スマホアプリによる音声ガイド（ポケット学芸員）を実施し、利便性向上を図った。
- ・子ども向けの「わくわくワークシート」を作成・配布し、子どもたちの興味関心を刺激する取り組みを行った。

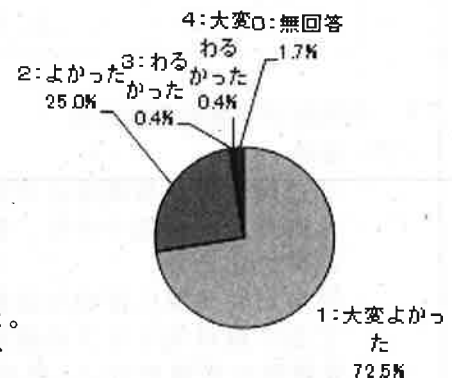
ウ 成果及び効果

- ・入館者からは、「稲嶺の画技の素晴らしさを改めて認識できた」「江戸時代後期の京都画壇における稲嶺の存在感の大きさを確認できた」と、稲嶺の再評価につながる反応が見られた。
- ・入館者目標の6,000人に対し、実績は約4,655人と達成率は77%であった。

<入館者の満足度等> アンケート回答より

感想（主なもの）

- ・大変感動した。また来たい。
- ・旧興国寺書院襖絵の展示は寺に行ったかのように良かった。
- ・鳥取藩にこんなすごい絵師がいたとは今まで知らなかった。
- ・作品の鑑賞が深まる工夫が沢山あり、大変良かった。
- ・子どもの楽しめる企画となっていて、親子で楽しむことができ良かった。



エ 課題

- ・本展の来館者層と番組視聴者層（テレビCM）がうまくマッチングしていなかったことや、通常の企画展では無料となっている70歳以上を有料としたことが影響したためか、70歳以上の入館者数が伸び悩んだ。本展のように高齢者層にファンが多い展覧会では、料金設定を慎重に検討する必要があると思われる。
- ・テレビCM以外での広報が充分に行われなかったことも影響してか、60歳代以下の若い層を新たに取り込むことに苦戦し、入館者数は目標入館者数には達しなかった。落ち着いた色彩のポスターデザインであったことも理由として挙げられるかもしれないが、通常ではあまり入館しない層への効果的な広報手段をあらためて検討する必要があると思われる。

【ミュージアムとの創造的対話vol.2 空間／経験 そこで何が起こっているのか？】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

予算額	決算額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
15,978	15,368	307	15,061

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探る。

(イ) 事業の実施状況

- ・シリーズ企画展の第2回目である今回は、梅田哲也、小山田徹、田口行弘の3名の作家を招聘し、ミュージアムの重要な要素／機能のひとつである「空間」とここでの「経験」の在り方に着目し、作品と鑑賞者との間に新たな関係性を開くことを試みる作品を紹介した。
- ・「ミュージアム」の空間を相対化するために、展示室だけではなく、エントランスホールや中庭部分や、館外の公園や浜辺で関連事業を実施した。

会 期	入館者数	目標
平成30年11月23日(金・祝)～12月24日(月・振休)〔32日間〕	1,676人	2,400人

※うち有料入館者数：479人(入館者数の28.6%)

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	141	22	10	60	1	234
割合[%]	60.3	9.4	4.3	25.6	0.4	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
① オープニングスペシャルトーク 講師：梅田哲也氏、小山田徹氏、田口行弘氏、尾崎信一郎(11/23)	42人
② ワークショップ「Particles' moment」講師：田口行弘氏(11/24)	18人
③ イベント「小さな火床に集う」(11/24, 11/25, 12/8, 12/9, 12/24)	207人
④ オープンダイアログ01「学芸員との創造的対話」(12/1, 12/15)	15人
⑤ オープンダイアログ02「梅田哲也×学芸員たち」(12/22)	22人
⑥ オープンダイアログ03「小山田徹×酒井雅代」(12/23)	46人
⑦ 梅田哲也「弥生人の脳を見に行くツアー」(12/22, 23, 24)	56人
⑧ 梅田哲也 パフォーマンス(12/23)	58人

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・敬遠されがちな現代美術分野の展覧会であるため、予備知識がなくても体験的に鑑賞して楽しむこともできる展示を試みた。
- ・自然・人文分野の博物館資料を作家の作品空間に取り入れることで、三分野が共存する「博物館」ならではの展示を試みた。
- ・「空間／経験」という抽象度の高いタイトルだったため、ポスター、チラシ類の色やデザインなどヴィジュアル・インパクトのあるものにすることで興味関心をひき期待感を高める工夫をした。

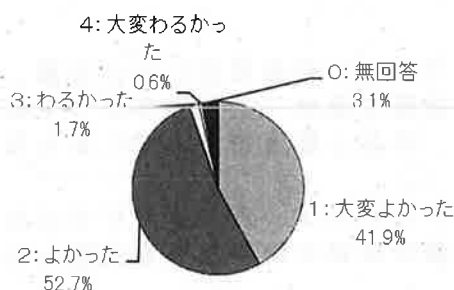
ウ 成果及び効果

- ・人文・自然係との連携はもとより、文化財課や埋蔵文化財センター、鳥取大学乾燥地研究所など関係機関各所の協力のもと、アーティストの新たな解釈による人文、自然分野の収蔵品や展示ケースなどの備品を取り入れた展示が実現し、「博物館」を新鮮な視点で見ていただく機会となった。
- ・展示室での体験を重視した展示にすることで、親子連れや現代美術に馴染みのない来館者でも楽しめたという声が多く聞かれた。
- ・館の内外で開催した関連イベントに400人以上が参加し、展示室にとどまらないアートの可能性や、ミュージアムの活動の展開の可能性を提示できた。

<入館者の満足度等>

○アンケート回答より

- ・「大変よかった」「よかった」とする意見が合計 94.9%と好評だった



○感想（主なもの）

- ・全然想像のつかなかった展示でした。現在の鳥取県立博物館が、博物館と美術館の両方を担っているからこそその素晴らしい企画でした。
- ・今まで来館時には何らかの予備知識なり先入観を持って来ていたが今回は今まで持ち得なかった視点というか、一種不思議かつワクワクするような感じがしました。
- ・実際に触れることもできるコーナーがたくさんあり、より身近にアートを感じることができました。
- ・今までの自分が何も疑わずにいた日常がなんなのか疑問を抱き考えるきっかけとなりました。

エ 課題

- ・入館者数目標は達成できなかったが、関連事業の参加者数を含めると目標の9割近い達成度である。展覧会と関連事業のどちらにも参加する人数を増やすため、展覧会入場券との相互チケットおよびカウント方法の工夫など、何らかの対策をする余地がある。
- ・時節柄、学校単位での児童生徒の来館がほとんどなかったため、せめて近隣の学校だけでも来館を取りはからってもらえるように事前に交渉しておくべきであった。

【Our Collections! 鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

予算額	決算額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
5,672	5,649	219	5,430

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・ 県立美術館整備の動きに呼応し、さらに多くの方々に関心を持ってもらうため、美術館の核となる鳥取県立博物館がこれまでに収集した美術コレクションと、これから新しく収集していきたいと考えるさまざまな分野の作品を実物や写真資料などで紹介する展覧会をする。

(イ) 事業の実施状況

- ・ 当館所蔵品および県内外からの借用作品計 102 点を第 1～第 2 特別展示室で展示紹介した。
- ・ 第一章および第二章では、鳥取県がこれまでに進めてきた美術コレクション収集の歴史を作品と合わせて紹介し、第三章では事前に行った人気投票で選ばれた作品を紹介、第四章では美術館の新しい収集方針の原案（例：“国内外の優れた美術”として、「1970年代から現代までの国内外の美術」や、「次世代の作家による優れた作品」など）をイメージできる作品を県外の美術館や個人、画廊等のコレクションから借用して紹介した。

会 期	入館者数	目標
平成31年2月16日（土）～3月10日（日） [20日間（会期中の月曜日休館）]	1,512 人	3,000 人

※うち有料入館者数：522人（入館者数の34.5%）

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	192	41	4	51	4	292
割合[%]	65.8	14.0	1.4	17.4	1.4	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
ギャラリートーク（2/16・3/2）	72 人
クロストーク（南雄介氏・外館和子氏ほか 2/23）	30 人
国内外の映像作品の上映（スクリーニング）（3/2・3/3・3/10）	52 人
スペシャルトークセッション（原口典之氏 3/9）	32 人

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 県民参加の試みとして、展示作品の人気投票を行い、その結果を展示に反映させた。
- ・ 会場アンケートでは、あらためて印象に残った作品を挙げてもらったり、美術館のコレクションについての意見、要望を記入する設問を設けた。

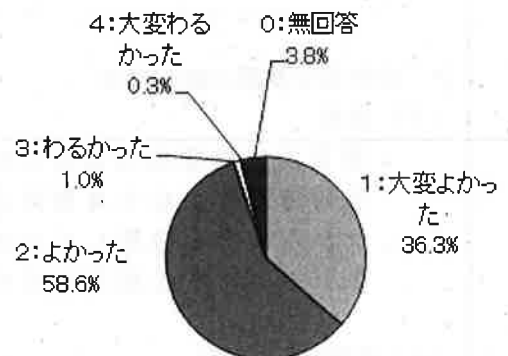
ウ 成果及び効果

- ・ 展覧会の内容に関する来場者の反響は、アンケートによれば総じて好意的であった。とくに第一章～三章については地元ゆかりの作品をしっかりと集めてきたことへの評価が、第四章については新しい美術を求める県民の心情にある程度響いたことをうかがわせる評価が寄せられたと考える。
- ・ 入館者目標の3,000人に対し、実績は約1,499人と達成率は49%であった。

＜入館者の満足度等＞アンケート回答より

感想（主なもの）

- ・ 想像を越えたコレクションだった。どの作品も特徴的でした。
- ・ ひとつの作品でもいろんな見え方があり、おもしろかった。
- ・ 県博が持っている作品でありながら初めて見る作品も多く見に来て良かった。
- ・ 所蔵品展よりも後半の現代アートが良かった。
- ・ すでに収蔵されているものはもちろん、今後の収蔵方針が「輝き」に満ちていて安心した。
- ・ 一流とよばれている作品があればもっと良いと思う。
- ・ 地方美術館、博物館の存在意義が問われている中、長年のコレクションと未来を直感した企画に応援の声を送りたい。



エ 課題

- ・ 3週間ほどの会期で目標数値を3千人と設定したが、達成はかなわなかった。報道実績については、テレビはNHKとNKT、新聞は朝日、読売、山陰中央、新日本海が取材し、朝日と新日本海はそれぞれ2回記事掲載された。その他フリーペーパーでも告知された。注目を集めた展覧会ではあったが、来場者の実数が伸びなかった。今後同趣旨の企画展を開催する際には、開催時期と会期、周知期間について再考する必要があると思われる。
- ・ 今回の来場者アンケートは、新しい美術館の収集方針策定の参考となるものである。それを踏まえて今後の事業を展開していく必要があると思われる。

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
博物館普及事業費	10,717		6	10,711
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概 要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

(イ) 事業の実施状況

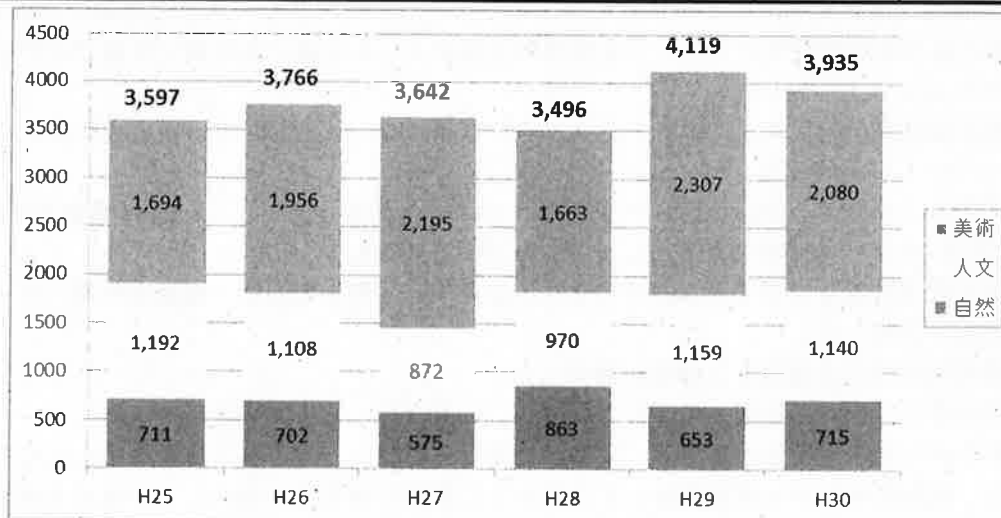
○生涯学習支援

- ・館内外で、各種講演会・ワークショップ・観察会等の普及講座を開催した。

普及講座の実績

(単位：回数＝回、参加者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
H25	17	711	28	1,192	50	1,694	95	3,597
H26	17	702	32	1,108	50	1,956	99	3,766
H27	18	575	30	872	50	2,195	98	3,642
H28	20	863	32	970	53	1,663	105	3,496
H29	21	653	37	1,159	63	2,307	121	4,119
H30	20	715	36	1,140	61	2,080	117	3,935



- ・館蔵資料や作品を県内各地で見学・鑑賞に供するため、移動博物館・移動美術館を開催した。

移動博物館・移動美術館／出前展示の実績

(単位：回数＝回、入場者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者
H25	4	632	4	1,783	1	1,209	9	3,624
H26	4	3,526	7	2,312	1	246	12	6,084
H27	6	2,611	4	1,003	2	851	12	4,465
H28	5	643	5	3,778	2	569	12	4,990
H29※	2	943	自然・人文共同開催 (左記に含む)		2	2,231	4	3,174
H30	4	674	3	275	2	645	9	1,594

※移動博物館を希望する学校や公民館等開催からH29年度より当館が選定する会場での開催に変更。展示を希望する学校への対応は「出前展示」と名称を変更して継続。

○学校教育支援

- ・博物館の持つ専門知識や博物館資料等の学習資源を、学校教育活動やその対象となる学校教職員に提供するため、「教員のための博物館の日」を開催した。
- ・「教員のための博物館の日」の第1回の開催はH26年度で59名の参加者は休暇扱いで参加していた。H27年から県教育センターの講座として出張扱いでの参加が可能になり、H27には90名と参加者が急増、その後H28年61名、H29年64名、H30年37名と推移している。H30年度は鳥取市教育センターとの研修が重なったため参加者が減少した。
- ・フリースクールや適応教室に通う児童生徒たちを博物館に招待して学習支援を行う「バス招待事業（児童生徒来館支援事業）」を実施した。当該施設に通う小学校から高校生と引率者合わせて34名を夏期企画展「とっとり化石EXPO!2018」に招待した。
- ・アウトリーチ事業として、各学校等に出前展示、学芸員派遣などの照会を行い、博物館資料を活用した講座を実施した。

○情報発信

- ・生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報をとりネット（博物館ホームページ）で情報発信した。
- ・H28年度からFacebookでの情報発信にも努めており、フォロワーは820人（R1年6月現在）。更新頻度も増えており、「いいね！」を押すことによる口コミ効果が広がっている。
- ・研究報告、普及誌（博物館ニュース）等の印刷物を発行した。

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・庁内LANノーツDBを活用して、普及講座にかかるDBや、展示解説が必要な団体申込があった場合に関係者に通知するDBなどを整備することによって、情報共有・事務の効率化を図った。
- ・前年度の参加者数やアンケートの結果等を踏まえ、より満足度の高い普及プログラムや新しいワークショップを実施した。
- ・美術館開館に向けて、「アートの種まきプロジェクト」と題して、地域住民とともに親しむアートイベントを実施した。
- ・「きのこを調べる会」（自然）・「古戦場・山城・荘園をあるく」（人文）・「鳥取市内野外彫刻散策会」（美術）など、地域素材を活かしたプログラムを実施した。
- ・企画展関連普及プログラムだけでなく、幼児向け・青少年向け・教員向け等、ターゲットを絞った講座を設定した。
- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・学校や公民館からの展示希望について、「出前展示」として実施した。
- ・教員のための博物館の日では、講演と公開ワークショップ、展示解説を中心にした構成とした。また、県教育センター連携講座とするなかでも事前に当事業へ期待している点を聞き取り、きめ細かい対応に心がけた。
- ・ホームページ、チラシ、ポスターなどを積極的に活用した広報を展開した。
- ・メディアへ積極的な情報提供を行った。

ウ 成果及び効果

- ・普及講座はH29よりはやや数が減ったが、全体として多くの参加者が集まっている。「毎週土曜日はアートの日」などの定着によるものと考えられる。
- ・報道への積極的な情報提供により、県民が博物館に関わる機会が増加した。
- ・SNSに積極的に記事を投稿することによって、博物館のファン層（フォロワー）が増加した。

エ 課 題

- ・ SNSによる情報発信に多くの館職員が関わっていくしくみ作りが必要である。また、SNSの記事の頻度・内容等を、反響の大きかった記事の傾向をもとに改善し、より多くの方の目にふれるような記事づくりをする。
- ・ 普及講座のなかで一般参加者の充足を損なわず就学前の子どもをどのように取り込むか、または、講座の編成を作るのか、ニーズの低年齢化と併せて必要である。
- ・ 「教員のための博物館の日」は学校の夏季休業中の平日に開催している。平成30年度は県教育センターと鳥取市教育センターの研修が被ってしまい、受講者が少なかった。開催日の調整を早めにしておく必要がある。
- ・ 現在の博物館利用の現状から、障がいのある方向けの講座などユニバーサルな普及プログラムや、自然と人文、自然と美術など異分野の共同実施など新たなプログラムの開発が必要である。

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県立美術館整備推進事業	26,028			26,028
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・平成30年5月に開催された県有施設資産有効活用戦略会議の結果を踏まえて策定した「鳥取県立美術館整備基本計画」に基づき、PFI事業者選定に向けた実施方針の策定、要求水準書の作成等の準備を進める。
- ・また、地域に根差し県民の支持と参画と運営される「私たちの県民立美術館」とするため、啓発活動を展開する。

(イ) 事業の実施状況

○PFI事業者選定に向けた業務実施

PFI事業者選定に向け、PFI法に基づく実施方針の策定、要求水準書の作成等、法務、金融、建築技術等の専門的な知見・能力を有する専門コンサルタントの支援を得ながら準備を進めた。

【内容】

- ・実施方針、要求水準書、事業契約書等事業者募集書類等の作成
- ・特定事業の選定に向けた財政負担額の試算
- ・民間事業者への参入意向ヒアリング調査
- ・実施方針の公表及び事業説明会の開催（平成31年3月）

【業務委託期間】H30年8月～H32年3月

○PFI事業者選定審査会の開催

民間事業者の事業提案書の審査を専門的かつ客観的な視点から行うため、PFI事業者選定審査会（鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業））を設置して落札者決定基準等の検討を行った。

【鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）9名】

氏 名	役 職 等
林 田 英 樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、元国立新美術館長
衣 笠 幸 雄	TBSテレビ社長室顧問、前・TBSサービス社長
山 梨 俊 夫	国立国際美術館館長、前・神奈川県立近代美術館館長
佐 治 ゆ か り	郡山市立美術館館長、美術館連絡協議会理事
光 多 長 温	公益財団法人都市化研究公室理事長、元・鳥取大学地域学部教授
堀 越 英 嗣	芝浦工業大学建築学部長、堀越英嗣ARCHITECT 5 代表、元・鳥取環境大学教授
遠 藤 由 美 子	公立鳥取環境大学副学長・環境学部教授（建築）
根 鈴 智 津 子	倉吉市教育委員会事務局文化財課長
池 上 祥 子	鳥取県地域振興部文化振興監兼文化政策課長

【開催状況】

- ・第1回 平成30年11月20日 審査会の設置、事業者選定方法等
- ・第2回 平成31年2月12日 審査方法、評価項目等

○「私たちの県民立美術館」啓発事業の実施

県立美術館の開館に向けて、美術の新しいファンをつくるとともに美術館を支えてくださる県民を増やすため、機運醸成を図る普及啓発等を行った。

- ・アートの種まきプロジェクト(美術館づくりワークショップ) 2回（参加者計44名）平成30年9月29日ほか
- ・ミュージアムサロン(文化関係者等とのディスカッション) 2回（計37名）平成30年5月23日ほか
- ・コレクション宅配便（学校や商業施設等での県立博物館所蔵作品の展示・解説等）

○鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等協力連携計画の推進

- ・県内どこにいても美術館のサービスが享受できる環境をつくり、また「とっとりのアート」の県外への発信力を強化するため、平成30年3月に策定した「美術館等協力連携計画」に基づき、美術館等協力連携推進委員会を設け、美術系文化施設との協力連携の方向性を協議している。
- ・委員会の開催 2 回 …H30. 6. 29ほか ・専門部会の開催 3 回 …H30. 6. 1ほか
- ・デジタルアーカイブ整備関係検討会等の開催 4 回 …H30. 5. 11ほか
- ・外部講師による資質向上研修会の開催 2 回 …H31. 2. 28ほか

〈美術館等協力連携推進委員会委員〉 8 名

田中 規靖（鳥取県立博物館長）	杉本 裕史（北栄みらい伝承館（北栄歴史民俗資料館）館長）
木谷 清人（鳥取民藝美術館 常務理事）	中村 智至（米子市美術館長）
福田 裕充（渡辺美術館長）	勝部 武史（伯耆町立写真美術館（植田正治写真美術館）館長）
根鈴 輝雄（倉吉博物館長）	安達 才智（日南町美術館長）

○美術ラーニングセンター（仮称）機能の検討

県立美術館の特色として設ける「美術を通じた学び」を支援する「美術ラーニングセンター」機能の有効化・充実に向け、学校関係者を中心に「美術ラーニングセンター（仮称）検討委員会」を設け検討を進めた。

- ・委員所属校等での実践
 - 平成30年 7月27日（鳥取市立面影小学校教員向け校内研修）
 - 平成30年 7月30日（県教育センター主催教員 2 年目研修（小学校、義務教育学校））
 - 平成30年10月31日（三朝西小学校 対話型鑑賞授業）ほか
- ・先進取組事例の調査（対話型鑑賞ファシリテーターの育成、教育普及事業の企画・運営等）
 - 平成31年 2月28日～3月1日（アーツ前橋、太田市美術館・図書館、宮城県美術館）

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・民間事業者への参入意向ヒアリング等をはじめとして、民間事業者との対話による意見・アイデア等を反映しながら業務を進めている。
- ・これまでのオープンな美術館づくりを継承し、検討状況に関する資料をホームページに掲載するなどの取組を継続している。

ウ 成果及び効果

- ・中部地域の官民59団体で組織される「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」等、県民の主体的な参画・協力を得て美術館整備を進める意識が醸成されつつある。
 - 県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会
 - 交通アクセス部会・応援団部会・盛り上げ部会・周辺環境部会等での検討
 - 美術館フォーラムの共同開催（平成30年12月15日、倉吉未来中心小ホール）
 - 美術館紹介パネルの巡回展示（平成30年12月から中部地区 6 か所）
 - 民間団体での出前説明会等
 - 倉吉商工会議所青年部（相談を受けながら、倉吉市内全小学生約2,500人の絵画や版画をもとにモザイク作品を作成し、看板として建設地周辺に設置した。）
- ・ワークショップづくり隊との協同
 - 公募により結成された県民による教育普及チームとして、博物館で行う美術部門の普及事業について、企画の段階から数回にわたって打ち合わせを重ね、事前の準備や試行を経て博物館職員と一緒にワークショップを開催。
 - ・東部地域の 9 名（大人 7 名・大学生 1 名・中学生 1 名）が中心となって活動
 - ・平成 3 0 年度 ワークショップ開催数 7 回

エ 課 題

- ・県立美術館を整備・運営に向けて、地元市町村・関係団体等との積極的な連携・協力を図っていくとともに、県民への周知を十分に行っていくことが必要である。

<平成30年度研究成果>

【自然担当】

鳥取県立博物館研究報告56号に、次の研究を出版・発表した。

○鳥取県琴浦町勝田川に迷入したジンベエザメおよびその鰓から得られた共生生物の記録

鳥取県琴浦町に迷入したジンベエザメの詳細な記載と共生生物および消化管内容物を調査し報告した。

県内で2例目の貴重な記録を残すことができた。

○鳥取県鳥取市の下部中新統から産出した化石群集

鳥取県で初めてとなる哺乳類の足跡化石などが報告された。

【人文担当】

○鳥取県立博物館研究報告において、館蔵資料を用いた「鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中島家『御用日記』翻刻（その五）」を報告した。

【美術担当】

○県内および県外に所在する鳥取藩絵師・土方稻嶺の作品を可能な限り詳細に調査・研究し、その成果として企画展を開催し、土方稻嶺に関する各種情報の集大成として図録を編集発行した。

○生誕100年を迎える岩美町出身の彫刻家・山本兼文の旧宅や工房を訪ね、そこに遺る作品や関係資料を中心に詳細に調査・研究し、その成果としてテーマ展示「生誕百年 山本兼文展」を開催した。

○美術館開館に向けた新しい美術資料収集方針について、国内主要美術館の収集方針等を検討しながら新しい視点を模索し、その成果として新収集方針案を作成した。そしてそれを踏まえた企画展「Our Collections!」を開催した。

7 決算調書

一般会計(歳入)

区分	科目	予算現額				調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	教育使用料	5,570,000	△ 132,000	0	5,438,000	2,932,913	2,932,913	0	0	
	行政財産使用料	358,000	△ 323,000	0	35,000	35,496	35,496	0	0	
	利子及び配当金	1,000	0	0	1,000	24,517	24,517	0	0	
	物品売払収入	213,000	994,000	0	1,207,000	1,275,570	1,275,570	0	0	
入	雑収入	9,049,000	△ 108,000	0	8,941,000	9,672,622	9,672,622	0	0	
	合計	15,191,000	431,000	0	15,622,000	13,941,118	13,941,118	0	0	

(単位:円)

一般会計(歳出)

区 分	科 目	予 算 現 額					決算額 B	決算額の内訳			翌 繰 越 額	年 度 繰 越 額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び繰越増減	計 A		本 庁	出納機関					
歳 出	社会教育総務費	0	42,094,000	0	0	42,094,000	42,093,810	42,093,810	0	0	190			
	博物館費	272,875,000	15,449,000	0	0	288,324,000	277,485,941	2,702,202	274,783,739	0	10,838,059			
	合 計	272,875,000	57,543,000	0	0	330,418,000	319,579,751	44,796,012	274,783,739	0	10,838,249			

(単位:円)

8 事業別実施状況調べ

(単位: 円)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(社会教育総務費) 鳥取県美術品取得 基金買戻金	0	42,094,000	42,093,810	0	190	鳥取県美術品取得基金で購入・修復した美術品の購入・修復費用について、一般会計で買い戻しを行った。
目 計	0	42,094,000	42,093,810	0	190	
(博物館費)					0	
企画展開催費	89,575,000	△ 639,000	87,856,084	0	1,079,916	3頁に記載
博物館運営費	91,417,000	△ 450,000	90,052,980	0	914,020	利用者に快適な鑑賞環境を提供するため、施設の維持管理を行い、来館者サービスの一層の向上につながるよう来館者等からの意見を聞きながら博物館を運営した。
博物館交流事業	3,788,000	△ 500,000	3,184,468	0	103,532	中国、韓国、ロシアの博物館、北省博物院、国立春川博物館、アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館)との交流や情報交換を行った。 【中国】「中国河北省博物院交流20周年記念展」の開催(11/23～12/24、当館第3特別展示室) 【韓国】国立春川博物館からの視察受け入れ(6/7～8、当館及び県内の施設) 【ロシア】アルセーニエフ沿海地方国立博物館への当館職員訪問(11/1～5、館長及び学芸員2名)
収蔵資料管理事業	5,509,000	△ 600,000	4,169,449	0	739,551	博物館が収蔵している約25万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行った。
自然事業費	14,160,000	△ 2,110,000	11,347,880	0	702,120	自然部門(地学・動物・植物)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行った。
人文事業費	23,769,000	△ 100,000	20,961,905	0	2,707,095	人文部門(考古・歴史・民俗)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行った。併せて、藩政資料の整備、修復・情報発信を行った。
美術事業費	16,896,000	△ 880,000	14,259,628	0	1,756,372	美術部門(絵画・彫刻・工芸・写真等)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行った。
博物館普及事業費	12,332,000	△ 260,000	10,716,494	0	1,355,506	13頁に記載
鳥取藩絵師粉本類 修復事業	1,796,000	0	1,774,080	0	21,920	鳥取藩絵師の小畑稻升、黒田稻壱、沖一峨の門人らを中心とする粉本類資料の修復を4か年計画で行った。(4か年計画の4年次目)

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	1,557,000	△ 800,000	291,861	0	465,139	県内博物館等の連携基盤を確立し、ネットワークの強化を図るため、鳥取県ミュージアム・ネットワークへの助成を行った。 ・鳥取県ミュージアム・ネットワーク補助金 補助金額 291,861円
第11次郷土視覚定点資料収集事業	7,141,000	0	6,843,187	0	297,813	郷土の変化を視覚的かつ的確に把握・理解するため、市町村教育委員会と共同して、同一地点（定点）の写真撮影を行い、その写真を歴史資料として収集・保存した。
鳥取県立美術館整備推進事業	4,935,000	21,788,000	26,027,925	0	695,075	16頁に記載
目 計	272,875,000	15,449,000	277,485,941	0	10,838,059	
合 計	272,875,000	57,543,000	319,579,751	0	10,838,249	

9 予備費の充用調べ
該当なし

10 繰越関係調べ
該当なし

11 収入証紙取扱額調べ
該当なし

12 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

（単位：円）

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	根拠法令名等	備 考
目	節	細節							
教育使用料	博物館 使用料		321	2,932,913	2,932,913	0	0	鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例	
	計(節)		321	2,932,913	2,932,913	0	0		
目 計			321	2,932,913	2,932,913	0	0		
行政財産 使用料	行政財産 使用料	職員駐車場	12	35,496	35,496	0	0	鳥取県教育財産事務取扱要領	
目 計			12	35,496	35,496	0	0		
合 計			333	2,968,409	2,968,409	0	0		

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
利子及び 配当金	利子及び 配当金	美術品取得 基金運用益	2	24,517	24,517	0	0		主務課
目 計			2	24,517	24,517	0	0		
物品売払 収入	物品売払 収入		109	1,275,570	1,275,570	0	0	鳥取県物品事務取扱規則	
目 計			109	1,275,570	1,275,570	0	0		
合 計			111	1,300,087	1,300,087	0	0		

(5) 寄付金
該当なし

(6) 諸収入

(単位:円)

(単位:円)

収 入 科 目			件数	調定金額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	根拠法令名等	備 考
目	節	細節							
雑入	雑入	鳥取県立博物館事業協賛金	4	600,000	600,000	0	0		
		入居団体等に 係る電力・上下 水道使用料	14	654,195	654,195	0	0		
		公衆電話料金	11	2,850	2,850	0	0		
		非常勤職員雇 用保険料(本人 負担)	156	69,653	69,653	0	0		
		法務局駐車場 使用料	2	31,997	31,997	0	0		
		企画展分配金	3	8,294,547	8,294,547	0	0		
		コピー代	70	18,880	18,880	0	0	県立博物館資 料等複写複製 業務取扱要領	
		入館料余剰金	1	500	500	0	0		
	計(節)			261	9,672,622	9,672,622	0	0	
目 計			261	9,672,622	9,672,622	0	0		
合 計			261	9,672,622	9,672,622	0	0		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収 入 済 額		備 考
教育使用料 博物館使用料	1,571,740	(248件)	博物館入館料
物品売払収入	1,275,570	(109件)	刊行物(図録)売払収入
雑入	22,230	(82件)	公衆電話使用料、コピー代、余剰金
合 計	2,869,540	(439件)	

イ つり銭の状況

(平成31年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	250,000
--------	---	----------	---------

13 税外収入未済額調べ
該当なし

14 未収金回収促進のための取組状況調べ
該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ
該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	執行・支出状況					備考	
		議決 (補正・当初の別)	期間		限度額	設定年度 の執行額 A	債務負担行為の期間				合 計 A+B
							29年度までの執 行額	30年度執行額	計 B		
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	
館内サーバー・資料DB公開 サーバー更新及び鳥取県情報 ハイウェイ接続	委託・役 務費、 使用料 及び賃 借料	平成26年3月 (当初)	平成27年度から 平成31年度まで	15,076,000	16,365,456	3,668,130	12,647,466	2,993,112	16,365,456	20,033,586	
県立博物館庭園管理業務	委託料	平成29年11月 (補正)	平成30年度から 令和2年度まで	4,869,000	4,762,799	0	0	1,633,300	4,762,799	4,762,799	
県立博物館空調自動制御機 器保守業務ほか	委託料	平成29年12月 (補正)	平成30年度から 令和2年度まで	12,570,000	10,968,000	0	0	3,656,000	10,968,000	10,968,000	
県立博物館機械整備業務	委託料	平成26年12月 (補正)	平成27年度から 平成31年度まで	650,000	486,000	0	291,600	97,200	486,000	486,000	
県立博物館湖山倉庫火災警 備業務	委託料	平成26年12月 (補正)	平成27年度から 平成31年度まで	455,000	272,160	0	163,296	54,432	272,160	272,160	
県立博物館清掃業務	委託料	平成28年11月 (補正)	平成29年度から 平成30年度まで	22,336,000	21,708,000	0	10,854,000	10,854,000	21,708,000	21,708,000	
鳥取県立博物館運転・監視 業務及び設備保全業務委託	委託料	平成28年11月 (補正)	平成29年度から 平成32年度まで	32,697,000	31,881,600	0	0	7,970,400	31,881,600	31,881,600	
県立博物館エレベーター保 守業務ほか	委託料	平成28年11月 (補正)	平成29年度から 平成31年度まで	13,278,000	12,317,400	0	0	4,105,800	12,317,400	12,317,400	
平成30年度博物館企画展開 催経費	報酬、 旅費、 委託料 等	平成30年3月 (当初)	平成30年度	87,400,000	7,243,704	0	0	0	7,243,704	7,243,704	
平成31年度博物館企画展開 催経費	報酬、 旅費、 委託料 等	平成31年3月 (当初)	平成31年度	88,000,000	0	0	0	0	88,000,000	88,000,000	
合 計				277,331,000	106,005,119	3,668,130	23,956,362	31,364,244	194,005,119	197,673,249	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠 法令名等(規 約、要綱等を 含む。)	備考
博物館費	15,619,000	単県	企画展「大大 山展」開催負担 金	「大大山展」実 行委員会	定額	H30.5.15	15,619,000	企画展「大 大山展」協定 書	文書ID: 18- 00044821
博物館費	16,730,000	単県	企画展「とっとり の化石展」開催 負担金	「ととりの化 石展」実行委 員会	定額	H30.5.18	16,730,000	企画展「とと りの化石展協 定書	文書ID: 18- 00044827
博物館費	18,080,000	単県	企画展「土方稲 嶺展」開催負担 金	「土方稲嶺展」 実行委員会	定額	H30.5.15	18,080,000	企画展「土方 稲嶺展」協定 書	文書ID: 18- 00044841
新規以外のもの							171,775		
目 計							50,600,775		
合 計							50,600,775		

(2)補助金

予算科目(博物館費)

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金 の 名 称 (補助金の創設年度)	交 付 先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				交付申請 年月日	完了年月日	検 査 年月日	概算 払精 算払 の別	支出年月日	金額	
鳥取県博物館振興会 補助金 (H19年度)	鳥取県立博物 館振興会		非常勤職員人件 費	—	H30.4.1	H30.4.11	精算	R1.5.8	2,257,871	文書ID: 19- 00014499
鳥取県立博物館振興 会の管理運営を支援 する。			(補助率:10/10)	H30.3.23	H31.3.31	H30.4.11				
			2,359,000	H30.4.1	H31.4.10					
鳥取県ミュージアム・ ネットワーク補助金 (H29年度)	鳥取県ミュージ アム・ネット ワーク		アドバイザーへ の謝金等	—	H30.5.16	H30.4.11	概算	H30.6.18	733,000	文書ID: 18- 00075257
加盟館の連携計画づ くり等、ネットワーク強 化の取組を支援す る。			(補助率:10/10)	H30.5.16 (H31.3.6)	H31.3.31	H30.4.11	戻入	H31.3.20	△ 113,081	
			1,551,384	H30.5.29 (H31. 3. 12)	H31.4.10		戻入	R1.5.15	△ 328,058	
単 県 分 計									2,549,732	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

(2-2)補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

該当なし

(3)交付金

該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予 算 科 目 (目)	国庫 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相 手 方	当 初 契 約				入札等 年月日 (契約保証金納付等年 月日)	完了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契約期間	支出 区分			支 出 年月日	金 額		
					変更契約(最終) (契約年月日) 契 約 額								
												契 約 形 態	
博物館費	単県	県立博物館清掃 業務	光リフテック有限会 社	22,289,040	(H29.3.19) 21,708,000	H29.4.1 ~ H31.3.31	H29.3.15 (免除)	H30.4.30 他 H30.4.30 他	精	H30.6.1 他	10,854,000	文書ID:18- 00056158 債務負担行為2年	
博物館費	単県	鳥取県立博物館 運転監視業務及 び設備保全業務 委託	鳥取ビルクリー ナー株式会社	32,697,000	(H29.4.1) 31,881,600	H29.4.1 ~ R3.3.31	H29.3.15 (免除)	H30.5.6 他 H30.5.6 他	精	H30.5.22 他	7,970,400	文書ID:18- 00034045 債務負担行為4年	
博物館費	単県	鳥取県立博物館 館内サーバ・資料 DB公開サーバ更 新ソフトウェア導 入・保守業務	株式会社モリックス ジャパン	9,350,208	(H26.6.9) 9,269,208	H26.6.9 ~ R1.6.30	H26.6.6 (免除)	H31.3.31 H31.3.31	精	H30.4.17	1,652,400	文書ID:19- 00011566 ソフトの著作権を所 有しているため	
博物館費	単県	県立博物館庭園 管理業務	株式会社社渡辺造園	4,795,200	(H30.3.16) 4,762,799	H30.4.1 ~ R3.3.31	H30.3.9 (免除)	H30.7.21 他 H30.7.21 他	精	H30.11.14 他	1,633,300	文書ID:18- 00193385 債務負担行為3年	
博物館費	単県	鳥取県立博物館 資料DBバックアッ プNAS等ハウジン グ業務	株式会社鳥取県情 報センター	5,700,660	(H26.6.13) 3,672,648	H26.6.13 ~ R1.6.30	H26.6.10 (免除)	H30.4.30 他 H30.5.1 他	精	H30.5.22 他	453,600	文書ID:18- 00042787 債務負担行為5年 県庁クラウドサーバ の運用を行っている ため	
博物館費	単県	平成30年度県立 博物館企画展開 催に係る駐車場警 備業務	富士綜合警備保障 株式会社	2,570,625	(H30.4.13) 2,490,264	H30.6.2 ~ H31.3.10	H30.4.10 (免除)	H30.6.30 他 H30.7.5 他	精	H30.7.19 他	2,416,149	文書ID:18- 00104651 債務負担行為2年	
博物館費	単県	県立博物館冷温 水発生機保守点 検業務	株式会社北陽エン 지니어・サービス	6,552,000	(H29.3.19) 5,961,600	H29.4.1 ~ R2.3.31	H29.3.15 (免除)	H30.10.31 H30.11.7	精	H30.11.19	1,987,200	文書ID:18- 00216976 債務負担行為3年	
博物館費	単県	県立博物館エシ ペーター保守点検 業務	株式会社日立ビル システム	4,668,000	(H29.3.19) 4,665,600	H29.4.1 ~ R2.3.31	H29.3.15 (免除)	H30.4.23 他 H30.5.1 他	精	H30.5.22 他	1,555,200	文書ID:18- 00039395 債務負担行為3年	

予 算 科 目 (目)	国庫 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相 手 方	当 初 契 約				入 札 等 年 月 日 (契約保証金納付等年 月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額					支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
					変更契約(最終)	契 約 期 間	契 約 形 態						
博物館費	単県	県立博物館空調 自動制御機器保 守点検業務	日本電技株式会社 鳥取営業所	8,087,040	(H30.3.15) 6,966,000	H30.4.1 R2.3.31	H30.3.9 (免除)	H30.9.30	精	H30.10.12 他	2,322,000	文書ID:18- 00190205 債務負担行為3年	
博物館費	単県	企画展「ミュージア ムとの創造的対話 vol.2 空間／経 験」会場設営等 ディスプレイ製作 設置撤去業務	有限会社巧巧広告	3,253,000	(H30.11.13) 2,570,400	H30.11.13 H31.1.10	H30.11.8 (免除)	H30.12.27	精	H31.1.28	2,570,400	文書ID:18- 00273730	
博物館費	単県	巡回展「大江山麓 の至宝ー大山の 重宝ー」に係る展 示資料、展示器材 の運送並びに展 示業務	日本通運株式会社	3,121,034	(H30.4.27) 2,808,000	H30.4.27 H30.8.31	H30.4.25 (免除)	H30.8.31	精	H31.2.8	2,808,000	文書ID:18- 00287378	
博物館費	単県	平成30年度美術 資料(近世絵画) の修復業務	有限会社 矢口浩 悦庵	3,088,044	(H30.6.6) 3,088,044	H30.6.6 H31.3.28	H30.5.31 (免除)	H31.3.13	精	H31.4.1	3,088,044	文書ID:18- 00343511	
博物館費	単県	企画展「Our Coll ections!」展示 作品借用・展示・ 撤去・返納業務	日本通運株式会社 鳥取支店	4,000,000	(H31.1.28) 3,888,000	H31.1.28 H31.3.23	H31.1.24 (免除)	H31.3.20	精	H31.4.24	3,888,000	文書ID:19- 00017651	
博物館費	単県	第11次郷土視覚 定点資料収集事 業に係る航空定点 写真撮影委託業 務	株式会社パスコ 岡山支店	5,994,000	(H30.8.30) 5,724,000	H30.1.12 H31.1.31	H30.8.24 (免除)	H31.1.31	精	H31.2.26	5,724,000	文書ID:18- 00295998	
博物館費	単県	平成30年度鳥取 県立美術館整備P FI事業に係るアド バイザリー業務	PwCアドバイザ リー合同会社	40,977,783	(H30.8.8) 40,977,782	H30.1.12 R2.3.31	H30.8.3 (免除)	H31.3.31	精	H31.4.26	21,531,398	文書ID:19- 00009639	

予 算 科 目 (目)	国庫 単 位の別	委託料の名称	委託契約の 相 手 方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金納付等年 月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況		備 考		
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契約期間			支出 区分	支 出 年 月 日		金 額	
								変更契約(最終)					
								(契約年月日) 契 約 額					契約期間
予定価格が250万 円未満のもの										29,212,510			
目 計										99,666,601			
合 計										99,666,601			

(4-2)委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

予 算 科 目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金納付等年 月日)	完了 年月日	支 出 の 状 況			備 考	
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契約期間			支出 区分	支 出 年月日	金 額		
					変更契約(最終)								
					(契約年月日) 契 約 額								契約期間
博物館費	単 県	平成30年度県立 博物館企画展開 催に係る駐車場警 備業務	富士総合警備保障 株式会社	2,570,625	(H30.4.13) 2,490,264	H30.6.2 ~ H31.3.10	H30.4.10 (免除)	H30.6.30 他	精	H30.7.19 他	56,160	(4)委託料の表の 同事業のうち、一部 を文化財課からの 配当替えにより執 行	
					(H31.3.8) 2,472,309	H30.6.2 ~ H31.3.17	制限付	H30.7.5 他					
予定価格が250万 円未満のもの											0		
目 計											56,160		
合 計											56,160		

(単位:円)

18 工事請負費調べ
該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)
該当なし

19 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(平成31年3月31日現在)														
行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政財産	鳥取県立博物館	鳥取市東町二丁目124番地	14,227.96	不明	増加	H				H		14,227.96	不明	
					減少	H				H				
	博物館湖山倉庫	鳥取市湖山町南三丁目505の一部	3,260.40	不明	増加	H				H		3,260.40	不明	
					減少	H				H				
計			17,488.36	0								17,488.36	0	

イ 建物

(平成31年3月31日現在)													
行政・普通財 産の 区分	施設名等	所 在 地	前年度末		本年度異動状況					差引		備 考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館	鳥取市東町二丁目124番地	9,699.18	726,927,000	増加	H				H	9,699.18	726,927,000	
					減少	H				H			
	博物館湖山倉庫	鳥取市湖山町南三丁目848	488.80	15,739,470	増加	H				H	488.80	15,739,470	
					減少	H				H			
計			10,187.98	742,666,470							10,187.98	742,666,470	

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

キ 物権

該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2)金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成31年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	円 13,513	円 47,656	円 55,631	円 5,538	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシー クーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリ ペードカード	0	0	0	0	
合 計	13,513	47,656	55,631	5,538	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成31年3月31日現在)

前年度末 未使用枚数	本 年 度 中		差 引	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 21 (JCB:7枚) (ハイヤー組合:14枚)	枚 90 (JCB:60枚) (ハイヤー組合:30枚)	枚 60 (JCB:27枚) (ハイヤー組合:33枚) 円 174,310	枚 51 (JCB:40枚) (ハイヤー組合:11枚)	

(3)基 金

(平成31年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		増	減		
鳥取県美術品 取得基金	円 500,000,000	円 42,093,810	円 42,093,810	円 500,000,000	美術品 18点
合 計	500,000,000	42,093,810	42,093,810	500,000,000	

(4)債 権

該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	来館者のためのカフェ事業	鳥取市東町二丁目124番地	35.24㎡	H29.4.1	H23.6.28	H30.4.1 ～H31.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市行徳二丁目260 株式会社グラン・クリュ食 工房	文書ID: 17- 00308981
	鳥取県立博物館振興会事業	鳥取市東町二丁目124番地	19.66㎡	H30.4.1	H19.3.30	H30.4.1 ～R5.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目124番地 鳥取県立博物館振興会	文書ID: 17- 00308746
計								0		

(2) 物品 (1 品の取得価格が 100 万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が 100 万円以上のもの)

品 名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先 住 氏 名	使用場所	貸 付 目 的	備 考
				単価	本年度の 貸付料				
根本幽峨「内裏雛図」	1	絹本・著色	H31.2.1～ H31.3.3	月額 年額	0	八頭郡智頭町智頭396 (一般財団法人)因幡街道ふるさと振興 財団 代表理事 長石彰祐	石谷家住宅	「石谷家のお雛様展」に 出品のため	
沖一峨「花こう方円図」	1	絹本・著色	H31.3.1～ R1.5.12	月額 年額	0	岡山市北区天神町8-48 岡山県立美術館長 守安 収	岡山県立美術館	「江戸の奇跡・明治の輝 き—日本絵画の200年」 展に出品のため	
合計					0				

21 借受不動産明細調べ
該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅
該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市東町二丁目124	12.5	5,916

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
	人	人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免	円			
4月	1			1		1	1	2,958	減免理由: 身体的理由等により自家用車で の通勤がやむを得ない場合に該当 減免率: 1/2		
5月	1					1	1	2,958			
6月	1					1	1	2,958			
7月	1					1	1	2,958			
8月	1					1	1	2,958			
9月	1					1	1	2,958			
10月	1					1	1	2,958			
11月	1					1	1	2,958			
12月	1					1	1	2,958			
1月	1					1	1	2,958			
2月	1					1	1	2,958			
3月	1					1	1	2,958			
合計								35,496		円 35,496	円 0

23 寄附物件の受納状況調べ

(平成31年3月31日現在)

品 名	規格・銘柄等	数量	見積金額	寄附申込 年 月 日	寄附申込者	受 納 年 月 日	受納手 続の有 無	備 考
ベビーカー	SC51	1	円 51,840	H30.9.10	公益財団法人日本博物館協会	H30.12.20	有	
車いす	NEO-1 (ス テッカー・杖入れ 付) PNE01HB10-NH	1	72,360	H30.9.10	公益財団法人日本博物館協会	H30.12.20	有	
カヤツリグサ科スゲ属	標本	100	5,000	H30.5.31	個人	H30.5.31	有	自然資料
ネッタイコシビロダンゴムシ	標本	9	450	H30.9.6	個人	H30.9.21	有	自然資料
八頭郡八頭町明辺産化石	標本	約200	20,000	H30.9.18	個人	H30.9.25	有	自然資料
化石	標本	11	11,000	H30.12.27	個人	H31.1.8	有	自然資料
テン	剥製	1	5,000	H31.3.6	個人	H31.3.7	有	自然資料
田中新次郎収集郷土民俗資料		29	58,000	H30.4.7	個人	H30.4.9	有	民俗資料
山名巖氏鳥取県高山関係資料		12	48,000	H30.4.7	個人	H30.4.11	有	近現代資料
鳥取県政100年記念 パズル 乗車券		1	5,000	H30.4.10	個人	H30.4.11	有	近現代資料
溪大録(百介)書状(竹信 佐五右衛門宛)		1	10,000	H30.4.20	個人	H30.4.22	有	歴史資料
本池虎雄関係資料		30	31,400	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
絹見正春従軍関係資料		83	14,500	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
防寒皮帽子(ピーマオツ)		1	2,000	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
長田呉服店古写真(コ ピー)		2	1,000	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
坪井氏旧蔵資料 他		16	12,000	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
山下氏旧蔵 絵葉書帖		1	5,000	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
鳥越正夫氏特攻隊資料		3	9,000	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
太和谷氏旧蔵古写真		12	9,200	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
松本家旧蔵資料		196	93,900	H30.4.20	個人	H30.5.13	有	近現代資料
短刀 銘文(表)備前長船 住横山祐包(裏)嘉永二年 八月日		1	148,000	H30.9.2	個人	H30.9.4	有	歴史資料
因幡錠		2	6,000	H30.9.3	個人	H30.10.26	有	民俗資料
土方稻嶺《烏鷺図屏風》	紙本墨画淡彩 他	1	4,000,000	H30.2.9	個人	H31.3.7	有	美術資料
仁熊一笑《竜巻図》	紙本墨画	1	50,000	H31.2.1	個人	H31.3.7	有	美術資料
安岡信義《とらの像》他	カンヴァス・ 油彩	3	900,000	H30.12.1	個人	H31.3.7	有	美術資料
河井寛次郎他陶芸作品	陶磁器	9	3,360,000	H30.12.1	個人	H31.3.7	有	美術資料
合 計		約713	8,928,650					

24 備品の処分状況調べ

品 名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格 円	不用決定年月 日	不用とする理由	処 分			備 考
							売却棄却の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	
クーラー(冷却器)	1	S60.7.23	年 6	229,000	2018/9/19	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため	H30.9.19	産業廃棄物として処分
ろ過集水槽	1	S60.7.23	15	72,000	2018/9/19	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため	H30.9.19	”
クーラー	1	H15.5.17	6	53,560	2018/9/19	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため	H30.9.19	”
片袖机	1	H10.5.1	15	51,992	2018/9/19	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため	H30.9.19	業者引取りの為、処分の為、費用なし
車椅子	1	S57.4.12	10	65,000	2018/11/9	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため	H30.11.9	産業廃棄物として処分
車椅子	1	S57.4.12	10	65,000	2018/11/9	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため	H30.11.9	”
土壌三相計 セット	1	H15.7.25	8	902,580	2018/11/21	使用不可(旧機種)	棄却	旧機種の為、使用不可	H30.11.21	”
電気伝導度計	1	H15.7.25	8	375,900	2018/11/21	使用不可(旧機種)	棄却	旧機種の為、使用不可	H30.11.21	”
合 計	8			1,815,032						0

25 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成30年7月24日 ～ 平成30年8月28日	有 ・ 無		

26 貸付金等状況調べ

該当なし

27. 博物館運営

(1) 管理運営

ア 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会（昭和33年条例第16号設置）は、委員14人で構成し、運営、自然、美術、人文の専門部会を組織して運営している。

会議の開催状況

全 体 会 平成30年5月11日、12月11日、平成31年3月14日

イ 入館料、使用料

入館料

（平成29年4月1日改訂）

区 分		金 額			特別展示
		通常展示			
		同日中に特別 展示に入館し ない場合	同日中に博物館 主催の特別展示 に入館する場合	同日中に博物館 主催以外の特別 展示に入館する 場合	
個 人 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	展示に要す る経費を勘 案して教育 委員会が別 に定める額
	学校教育活動 での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方・要 介護者等及び その介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	1,800円	無 料	90円	
団 体 (20名以上) 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	
	学校教育活動 での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及び その介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	1500円	無 料	70円	

展示室等使用料

（平成27年4月1日改訂）

区 分	金 額	
第 1 展 示 室	1日につき	13,300円 半日につき 6,650円
第 2 展 示 室	"	13,300円 "
第 3 展 示 室	"	10,380円 "
講 堂	"	5,320円 "
会 議 室	1時間につき	270円

備考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 午後5時を越えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に、1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第 1 展 示 室	1時間につき 1, 6 6 0円
第 2 展 示 室	" 1, 6 6 0円
第 3 展 示 室	" 1, 3 0 0円
講 堂	" 6 6 0円

3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

展示室等利用料金の減免事由

該当項目	減免対象	減免率
芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し（実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。）のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2
社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等（実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。）のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2
障がいのある方、難病患者の方及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
70歳以上の高齢者が社会参加の目的のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
要介護者等及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
全県の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	10/10
郡市単位以上の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	1/2
教育研究団体が教育内容の向上を目的として行う教職員を対象とした講演会又は講習会等（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	10/10
個人又は団体等が一般人を対象に開催する展示会、講演会又は講習会等（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	1/2
博物館の業務に関連のある展示会で、入場料（これに類するものを含む。）が県立博物館の入館料最高額をこえないもので、博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合	・展示室	展示期間 の前後各 1日 10/10
その他博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合の展示会、講演会又は講習会等	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
学校等が、生徒等が行う公演、生徒等の作品の展示等の文化芸術に関する行事（学年（これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。）単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他知事が別に定める要件に該当するものに限る。）のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室 ・冷暖房料	10/10
幼児・児童又は生徒が参加するもので、対象団体等が主催する文化芸術行事又はスポーツ行事（学年単位以上、学校の文化部長が行う発表会等、対象団体が行う大会等） 【対象団体】（県内のものに限る） 幼稚園、保育所、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、高等専門学校、専修学校、指定技能教育施設、教育関係団体	・展示室 ・講 堂 ・会議室 ・冷暖房料	10/10

展示室等利用料金の無料事由

該当項目	無料対象
とっとり県民の日（9/12）には、展示室等使用料（とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行う場合に限る。）についてはこれを徴収しない。9月の第2土曜日及びその翌日における当該使用料についても、同様とする	・展示室 ・講 堂 ・会議室 ・冷暖房料

ウ 開館時間、休館日

開館時間 午前9時から午後5時まで
 （教育委員会があらかじめ指定する日にあつては、午前9時から午後7時まで）

休 館 日

- ・月曜日（その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日（以下「休日」という。）である場合は、その翌日（その日が休日でない場合に限る。））
- ・休日の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。）
- ・12月29日から翌年の1月3日までの日

(2) 利用状況

ア 展示室等利用状況(日数)

(単位:日)

区分	常設展示室	第1展示室	第2展示室	第3展示室	講堂	会議室	合計
主催	328	191	176	51	29	66	841
その他	0	108	159	134	25	16	442
計	328	299	335	185	54	82	1,283

イ 博物館利用者数

(単位:人)

区分	常設展	企画展等	講堂	会議室	研究相談	普及活動 (講堂、会議室を除く)	カフェ 利用者	合計
主催	25,850	22,309	1,030	1,687	436	5,358	0	56,670
その他	0	36,253	1,986	725	0	0	15,381	54,345
計	25,850	58,562	3,016	2,412	436	5,358	15,381	111,015

ウ 常設展月別入館者数

(単位：人)

月別	開館 日数	小中学生			高校生			学生			一般			合計			1日当たり の入館者数
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
4月	29	208	9	217	50	0	50	29	0	29	(379) 1,233	(27) 150	(406) 1,383	(379) 1,670	(27) 159	(406) 1,829	63
5月	28	121	120	241	48	17	65	113	0	113	(517) 1,504	(44) 408	(561) 1,912	(517) 1,875	(44) 545	(561) 2,420	86
6月	29	60	13	73	18	40	58	22	0	22	(675) 898	(104) 168	(779) 1,066	(675) 1,080	(104) 222	(779) 1,302	44
7月	30	845	135	980	60	0	60	33	17	50	(1,445) 1,786	(1) 87	(1,446) 1,873	(1,445) 3,133	(1) 342	(1,446) 3,475	115
8月	30	1,277	28	1,305	96	11	107	96	0	96	(2,485) 2,977	(36) 146	(2,521) 3,123	(2,485) 5,016	(36) 237	(2,521) 5,253	175
9月	26	95	23	118	12	0	12	47	0	47	(178) 725	(1) 161	(179) 886	(178) 931	(1) 184	(179) 1,115	42
10月	29	153	654	807	18	40	58	19	0	19	(996) 1,270	(13) 126	(1,009) 1,396	(996) 1,522	(13) 820	(1,009) 2,342	80
11月	26	55	329	384	23	0	23	30	0	30	(1,103) 1,383	(23) 132	(1,126) 1,515	(1,103) 1,583	(23) 461	(1,126) 2,044	78
12月	26	141	156	297	46	27	73	109	15	124	(704) 987	(0) 96	(704) 1,083	(704) 1,379	(0) 314	(704) 1,693	65
1月	24	105	4	109	34	0	34	30	0	30	(162) 479	(1) 96	(163) 575	(162) 747	(1) 100	(163) 847	35
2月	24	100	168	268	40	0	40	35	0	35	(552) 873	(0) 124	(552) 997	(552) 1,147	(0) 305	(552) 1,452	60
3月	27	216	18	234	56	0	56	95	0	95	(747) 1,332	(24) 217	(771) 1,549	(747) 1,826	(24) 252	(771) 2,078	76
合計	328	3,376	1,657	5,033	501	135	636	658	32	690	(9,943) 15,447	(274) 1,911	(10,217) 17,358	(9,943) 21,909	(274) 3,941	(10,217) 25,850	78
補足 説明		() は入館料減免者で内数である。															

(3) 事業内容

ア 常設展示

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・模型 ・機器	計
自然	2,210	15	2,225
歴史・民俗	820	88	908
美術	289	0	289
合計	3,319	103	3,422

(ア) 自然展示室 (1階 515㎡)

鳥取県の自然史、すなわち地質、地形、化石、動物、植物についての歴史と現在の姿を理解できるように、また環境問題や自然との共生を考えるために、実物標本・レプリカ・パネル等を用いてわかりやすく展示解説した。

(イ) 歴史・民俗展示室 (1階 515㎡)

本県の縄文時代から近世までの生活様式の移り変わりと、因幡・伯耆の歴史や文化の特色が理解できるよう、資料や模型・模写等を用いながら展示解説するとともに、祖先から伝承された生活用具、日用品、芸術娯楽及び年中行事や県内各地の有形・無形の民俗資料を展示解説した。

(ウ) 美術常設展示室（1階260㎡）

事業名	会期	内容
コレクション展Ⅰ 「新収蔵品展Ⅰ 洋画」	5月31日～7月8日	平成28年度以降の新収蔵美術品から、洋画作品を展示紹介した。
コレクション展Ⅱ 「新収蔵品展Ⅱ 恩田孝徳 —大空襲後の東京を描く—」	7月11日～8月19日	平成28年度以降の新収蔵美術品から、恩田孝徳の東京大空襲記録画を展示紹介した。
コレクション展Ⅲ 「新収蔵品展Ⅲ 版画・彫刻・工芸」	8月22日～9月30日	平成28年度以降の新収蔵美術品から、版画・彫刻・工芸作品を展示紹介した。
コレクション展Ⅳ 「新収蔵品展Ⅳ 近世・近代日本画」	11月16日～ 平成31年1月6日	平成28年度以降の新収蔵美術品から、近世・近代の日本画作品を展示紹介した。
コレクション展Ⅴ 「受け継がれし祈り —鳥取の仏教美術を中心に—」	1月10日～2月24日	当館に寄託されている仏教美術資料を中心に展示紹介した。
コレクション展Ⅵ 「春の訪れ、季節のめぐり」	2月27日～4月14日	当館所蔵作品や寄託作品から、春にまつわるモチーフが描かれた作品を中心に展示紹介した。

(エ) 近代美術展示室（2階374㎡）

事業名	会期	内容
テーマ展示Ⅰ 「動／静」	7月21日～8月26日	当館所蔵品と個人所蔵作品から、「動／静」を自由に読み取る、感じる展示会を開催した。
テーマ展示Ⅱ 「生誕百年 山本兼文展」	11月23日～12月24日	平成30年度に生誕100年を迎えた岩美町出身の彫刻家・山本兼文の仕事を、当館所蔵作品および個人所蔵作品で振り返る展覧会を開催した。

イ 特別展示

(平成31年3月31日現在)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
平木コレクション 歌川広重の世界 保永堂版東海道五 十三次と江戸の四 季	H30. 3. 31 ～ H30. 4. 30	歌川広重の代表作「東海道五十三次」全点 と、最晩年の大作「名所江戸百景」などを平 木コレクションの名品から公開した。	11,304	株式会社 新日本海 新聞社 ※入館者 数は4/1～ 4/30分 (期間中 計11,679 人)
世界が認めた漫画 家の魅力に迫る原 画展 描くひと 谷口ジローの世界	H30. 4. 14 ～ H30. 5. 13	2017年2月に世を去った谷口ジローの主 要作品の原画、単行本に未収録の初期作品、 谷口ジローの制作の現場に立ち会った関係者 のインタビュー映像などを公開した。	6,847	鳥取県 (観光交 流局まん が王国官 房)
第57回鳥取市民 美術展	H30. 5. 13 ～ H30. 5. 20	鳥取市民に芸術作品を創作する意欲を促すと ともに、優れた作品を展示することにより市 民に鑑賞の機会を提供し、鳥取市及び鳥取県 東部地区の美術振興に寄与するための展覧会 を開催した。	2,476	鳥取市
企画展「伯耆国 大山開山1300 年祭 大いなる神 仏の山 大山—そ の歴史と民俗—」	H30. 6. 2 ～ H30. 7. 1	大山が開かれてから1300年に当たる記念 の年に、大山寺や大神山神社が所蔵する重宝 を中心に、全国に点在する大山関係資料を一 堂に展示し、大山の歴史的・文化的な魅力を 紹介した。	2,593	
第61回日本伝統 工芸中国支部展	H30. 6. 19 ～ H30. 6. 24	中国地方4県(山口県以外)在住の伝統工芸 作家が会員である日本工芸会中国支部では、 地域の伝統工芸の普及と発展を期し、毎年公 募展を開催しており、優秀な作品を一般の 方々に鑑賞していただくための展覧会を開催 した。	1,375	公益社団 法人日本 工芸会中 国支部
毎日書道展 第7 0回記念 毎日現 代書巡回展鳥取展	H30. 7. 7 ～ H30. 7. 16	毎日書道展70周年記念として「今こそ現代 書」のテーマのもと、全国巡回作品64点に 加え、中国4県の代表作家、推薦作家の新作 293点を紹介した。	762	株式会社 毎日新聞 社

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
企画展「とつとりの化石EXPO! 2018」	H30. 7. 14 ～ H30. 8. 26	鳥取県内の代表的な化石産地（鳥取市国府町宮下の魚類化石、鳥取市佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石、日野郡日南町多里の貝類化石など）を中心に、産出した新種の化石や古環境などを紹介した。	11,873	
麒麟EXHIBITIONS—因幡但馬に息づく麒麟の謎—	H30. 7. 22 ～ H30. 8. 26	因幡・但馬地域に伝承される地域の歴史的な文化資産としての「麒麟獅子舞」について、獅子頭、猩猩面をはじめ、「麒麟」にまつわる様々な文化芸術等を展示した。	3,719	一般社団法人鳥取・日光400年プロジェクト
第62回鳥取県美術展覧会	H30. 9. 15 ～ H30. 9. 24	広く県民の方から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、県内の美術、文化の振興に寄与する展覧会を開催した。	3,476	鳥取県（文化政策課）
企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」	H30. 10. 6 ～ H30. 11. 11	江戸時代後期に鳥取で生まれ、晩年には鳥取藩絵師として召し抱えられた土方稲嶺について、近畿の禅僧寺院に伝わる襖絵等の名品を中心に紹介することで、鳥取画壇の祖といわれる稲嶺像の核に迫る展示を行った。	4,655	
企画展「ミュージアムとの創造的対話02 空間／経験 そこでは何が起こっているのか？」	H30. 11. 23 ～ H30. 12. 24	「ミュージアム」という場所や従来の枠組みにとらわれず、実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させるシリーズ企画展であり、第2回目となる今回は「空間と経験」をテーマに、美術家の創造行為とミュージアムの関係性についての問題を提起する現代美術作家による展示を行った。	1,676	
第16回鳥取県ジュニア美術展覧会	H31. 1. 12 ～ H31. 1. 20	鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図るための展覧会を開催した。	1,917	鳥取県（文化政策課）
Photo Exhibition 代表展vol. 3	H31. 1. 16 ～ H31. 1. 20	写真愛好家の活動を広く紹介するため、地元のフォトグラファー26人による写真作品を展示した。	566	個人

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
鳥取県文化功労賞 受賞記念巡回展	H31. 1. 26 ～ H31. 1. 30	鳥取県では、優れた芸術文化活動により広く文化振興に功績のあった方の功績を讃えて鳥取県文化功労賞を設置しており、本展において平成30年度に受賞された方の功績と活動を広く紹介した。	242	鳥取県 (文化政策課)
鳥取大学附属特別 支援学校 児童生 徒作品展	H31. 1. 30 ～ H31. 2. 5	鳥取大学附属特別支援学校の啓発と理解を広く図るため、児童生徒が授業等で制作した作品を展示した。	239	鳥取大学 附属特別 支援学校
企画展「Our C ollection s! 鳥取県の アート・コレク ションの、これま でとこれから」	H31. 2. 16 ～ H31. 3. 10	鳥取県立美術館の建設に向けて、さらに多くの皆さまに関心を持っていただくため、新美術館の核となる当館美術部門のコレクションを、鳥取県による美術品収集の歴史とともに展示した。	1,512	
発掘! 因幡の遺跡 展	H31. 2. 23 ～ H31. 3. 17	近年、鳥取県東部の発掘調査(鳥取西道路等)で出土した膨大な出土品の中から、選りすぐりの逸品を公開した。	1,881	鳥取県 (教育委員 会埋蔵文 化財セン ター)と の共催
第40回記念鳥取 県書道連合会展	H31. 3. 21 ～ H31. 3. 24	鳥取県内書道人の書の祭典として開催され、選抜された150名による漢字、仮名、漢字仮名交じり書と幅広いジャンルの作品を展示した。	610	鳥取県書 道連合会
第42回鳥取書道 連盟展	H31. 3. 28 ～ H31. 3. 30	鳥取書道連盟は県東部地域を中心とした約300名の会員からなり、そのうち117名による漢字、仮名、漢字仮名交じり書と幅広いジャンルの作品を展示した。	648	鳥取書道 連盟
「倉吉絣」 in ロ シア・ウラジオス トク出展作品 帰 国お披露目展	H31. 3. 30 ～ H31. 4. 7	鳥取県文化デイズの一環として、平成30年10月から1ヵ月間、ロシア・ウラジオストクにあるロシア沿海地方国立美術館で「倉吉絣」の展覧会を開催した際の作品をお披露目した。	191	個人 ※入館者 数は3/30 ～3/31分
合 計			58,562	

ウ 普及活動
(ア) 移動博物館

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 とつとりの自然	エキパル倉吉	10月5日(金)～ 10月9日(火)		375
人文 鳥取県の祭り・行事	湯梨浜町中央公民館泊分館	9月22日(土)～ 10月9日(火)		50
合 計 2 回				425

(イ) 出前展示

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 鳥取県の化石	日野町立黒坂小学校	6月8日(金)～ 6月22日(金)		29
鳥取県の化石	倉吉市立鴨川中学校	10月1日(月)～ 10月12日(金)		66
食卓の魚	認定こども園キッズタウンさくら	10月29日(月)～ 11月9日(火)		204
人文 大山と牛馬守護の信仰	大山町名和公民館	11月1日(木)～ 11月11日(日)		65
大山と牛馬守護の信仰	江府町防災・情報センター	11月15日(木)～ 11月25日(日)		160
合 計 5 回				524

(ウ) 移動美術館

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
《館外普及事業》橋本興家木版画展 ―日本の城を訪ねて―	若桜郷土文化の里匠の館	8月18日(土)～ 9月17日(月)		329
《館外普及事業》移動美術館「北条町コレクション」 Tokyo & Paris 前田寛治と、彼が会った国内外の画家たち	北条みらい伝承館(北条町北条歴史民俗資料館) 第1展示室	10月6日(土)～ 10月21日(日)		316
合 計 2 回				645

(エ) ① 学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然	弓ヶ浜サイクリングロード施行に伴うハマナス群落保全の指導	米子市和田町		8
	森林セラピー推進協議会地域ガイド養成(地域の植生を学ぶ)	智頭町芦津溪		13
	教員免許状更新研修に伴う協力	博物館講堂、博物館展示室	21	21
	「動物村」にある樹木の同定(発疹等がでる恐れのある樹木 他)	鳥取市立末恒小学校		2
	「二十一世紀の森」展示館利用促進のための意見交換会	二十一世紀の森		18
美術	中部中学校教育振興会研修	博物館会議室、博物館展示室		9
	面影小学校職員研修	博物館会議室		25
	コレクション宅配便 新規採用研修	倉吉体育文化会館		67
	東部教育研究会図画工作部会造形展審査	鳥取市立福部未来学園		87
	鳥取市小学校教育研究会図画工作部会研修	博物館会議室、博物館展示室、博物館地下バックヤード		87
	鳥取市小学校教育研究会研究授業	鳥取市福部未来学園		27
合 計 11 回				364

(エ) ② 学芸員派遣

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然	「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介(その1)	鳥の劇場(鳥取市鹿野町)		40
	「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介(その2)	鳥の劇場(鳥取市鹿野町)		60
	オカヒジキもどってこいこいプロジェクト	岩美町熊井浜		27
	「青谷学」への学芸員派遣	鳥取県立青谷高等学校		25
	野外観察会「山陰海岸ジオハイキング(羽尾岬コース)」	岩美町羽尾岬	20	18
	伯耆国「大山開山1300年祭」大山講座～大山の自然とその魅力～	大山町大山寺		56
	親子でいっしょに楽しむ講座「押し花をつくろう」	鳥取市立中央図書館	30	41
	久松山登山自然観察会	鳥取市久松山		48
	万葉の庭散策講座「秋の庭散策」	因幡万葉歴史館		11

	鳥取・島根自然観察指導員交流会	倉吉市打吹公園・三朝町三徳山	11月10日(土)～ 11月11日(日)		21
	氷ノ山自然観察会	若桜町春米	1月19日(土)		8
	教職課程科目「理科教育法2：中学校理科 教師と研究」	公立鳥取環境大学	2月1日(金)		28
	自然観察会（タンポポ調査西日本2020）講 師	琴浦町八橋城跡公園	3月23日(土)		9
人文	古文書解読ボランティア東中西部例会	鳥取県立博物館、倉吉博物館、米子 市旧庁舎	毎月		393
	幕末・明治を駆け抜けた石脇出身の偉人 伊 王野 坦	湯梨浜町泊公民館	6月5日(火)		46
	古文書を読む会	みささ図書館、倉吉博物館	6月12日(火)		20
	縄文土器づくりと古代食体験	智頭町埋蔵文化財センター	7月27日(金)		12
	鳥取城のひみつ	渡辺美術館	7月29日(日)	20	20
	門脇重綾家文書から見た郷土の歴史	境港市渡公民館	12月1日(土)		30
	開山1300年！大山の民俗あれこれ	対翠閣	12月1日(土)		78
	名和長年とその一族	倉吉市成徳公民館	12月2日(日)		48
	「とっとりのお宝おひろめ in 米子～鳥取県指定 文化財展～」展示解説	米子市美術館	1月12日(土)		40
美術	学芸員派遣	鳥取県立倉吉養護学校	6月12日(火)		7
	コレクション宅配便	境港市立第三中学校	6月20日(水)		108
	ワークショップ「紙コップ10000個で街を作ろ う！」	中浜公民館	8月9日(木)		42
	「旅するムサビ in 鳥取」黒板ジャック	鳥取市立面影小学校	8月27日(月)		443
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前授業	鳥取市立面影小学校	9月25日(火)		84
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前授業	鳥取市立散岐小学校	9月28日(金)		18
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前授業	琴浦町立浦安小学校	10月4日(木)		46
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月9日(火)		65
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前授業	米子市立啓成小学校	10月11日(木)		21
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月12日(金)		85
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月15日(月)		52
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月16日(火)		19
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前授業	岩美町立岩美北小学校	10月17日(水)		84
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月18日(木)		23
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月19日(金)		85
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館	博物館展示室	10月23日(火)		45
	ワークショップ「線の森」造形遊び公開授 業	鳥取市立若葉台小学校	10月27日(土)		177
	鳥取市文房四宝祭りワークショップ「掛け 軸を作ろう」	鳥取市文化センター	10月28日(日)		48
	コレクション宅配便	三朝町立西小学校	10月31日(水)		49
	企画展「土方稲嶺」来館	博物館展示室	11月2日(金)		38
	コレクション宅配便	大山町立大山中学校	11月7日(水)		67
	アーティストとつくろう！「ご飯茶碗をつ くろう！」	鳥取市立宮ノ下小学校	12月3日(月)～ 12月10日(月)	65	66
	ワークショップ「イノシシのお正月飾りを つくろう！」	湯梨浜町障がい者地域活動支援センタ	12月26日(水)	15	15
	ワークショップ「不思議な絵の具で描いて みよう！」	鳥取市教育センター内適応指導教室す	1月23日(水)	10	10
	紙コップ10000個で街をつくろう！	岩美子ども食堂	1月24日(木)	30	32
	ワークショップ「不思議なえのぐで描いて みよう！」	米子市立啓成小学校	2月16日(土)	49	49
合 計 48 回					2,857

(オ) 教員向けイベント

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
教員のための博物館の日2018 in 鳥取県立博物館	県立博物館展示室・会議室・講堂	8月2日(木)		37
合 計 1 回				37

(カ) 普及講座・講演会

● 自然部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《野外観察会》自然観察さいしょの一步	米子湊山公園	4月30日(月)	20	27
《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」 in 大山	大山寺周辺	5月12日(土)	30	41
《天体観望会》春の星を見る会	博物館前庭	5月12日(土)		25
《野外観察会》集めよう鉱物！-百谷鉱山跡-	鳥取市百谷	5月26日(土)	20	49
《ギャラリートーク》企画展「とつとりの化石EXPO！ 2018」	博物館展示室	7月15日(日)		50
《自然講座》化石レプリカをつくろう！	博物館会議室	7月22日(日)	20	24
《野外観察会》昆虫観察入門～街灯に集まる虫たち～	博物館周辺	7月28日(土)	30	32
《講演会・トークセッション》講演会「世界の魚類化石： シーラカンズから国府町宮下まで」	博物館講堂	7月29日(日)	250	70
《自然講座》地層のでき方大実験！	博物館前庭	8月4日(土)		64
《自然講座》みて！さわって！ ホネを楽しもう	博物館会議室	8月5日(日)	20	22
《野外観察会》化石をさがせ！ in 春米	若桜町春米	8月11日(土)	15	31
《天体観望会》夏の星を見る会	博物館前庭	8月11日(土)		36
《ギャラリートーク》企画展「とつとりの化石EXPO！ 2018」	博物館展示室	8月12日(日)		40
《自然講座》標本を調べる会	博物館会議室	8月19日(日)		39
《ギャラリートーク》企画展「とつとりの化石EXPO！ 2018」	博物館展示室	8月26日(日)		40
《野外観察会》きのこを調べる会	大山町下山キャンプ場	10月20日(土)	30	27
《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！ in 倉吉	倉吉市打吹公園	11月10日(土)	20	15
《講演会・トークセッション》昆虫たちの現状から考える 鳥取県の自然	博物館講堂	12月1日(土)	250	60
《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月9日(日)	20	2
《自然講座》キラキラ★標本アクセサリー！	博物館会議室	12月16日(日)	20	21
合 計 20 回				715

● 人文部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《歴史講座》大雲院における歴代将軍年会忌法要	博物館会議室	4月14日(土)	20	20
《歴史講座》人文部門常設展示コレクション展「刀剣爛 漫」ギャラリートーク	美術展示室	4月14日(土)		55
《歴史講座》縄文土器をつくる	博物館会議室	4月15日(日)	20	14
《ギャラリートーク》青谷横木遺跡「女子群像」板絵ギャ ラリートーク	博物館展示室	4月22日(日)～ 5月6日(日)		112
《歴史講座》聞いてみよう！日本刀のアレコレ	美術展示室	5月3日(木)		45
《民俗講座》大山と地藏菩薩	博物館会議室	6月3日(日)	40	38
《ギャラリートーク》企画展「大いなる神仏の山 大山」	博物館展示室	6月3日(日)		42
《歴史講座》野の思想運動 神代復古運動／安徳天 皇陵承認運動	博物館会議室	6月9日(土)	20	20
《講演会・トークセッション》『大山寺縁起』の語るもの	博物館講堂	6月10日(日)	250	73
《歴史講座》歴史と民俗を訪ねる会 in 大山	大山寺周辺	6月17日(日)	20	11
《ギャラリートーク》企画展「大いなる神仏の山 大山」	博物館展示室	6月24日(日)		48
《歴史講座》大山の仏教美術	博物館講堂	6月24日(日)	250	54
《歴史講座》第一次県史編さん事業と公文書館	博物館会議室	7月14日(土)	20	20
《歴史講座》オリジナルの和綴じ本をつくろう	博物館会議室	7月29日(日)	20	14
《歴史講座》因州鳥取藩財政と海岸警衛御用—安政4 年の藩債整理を中心に—	博物館会議室	8月11日(土)	20	20
《ギャラリートーク》大山山麓の至宝	米子市美術館	8月18日(土)		92
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月19日(日)		28
《歴史講座》西伯耆地方の神社に伝わる棟札からわか ること 西伯耆の黄檗寺院	米子市内	9月8日(土)	200	56

《歴史講座》自分の花押をつくる	博物館会議室	9月9日(日)	20	8
《歴史講座》泥塔クッキーをつくらう	鳥取市立久松地区公民館	9月21日(金)	10	19
《歴史講座》鳥取城周辺から出土した江戸後期の「やきもの」考	博物館会議室	10月13日(土)	20	20
《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく―秋里氏と千代川下流域―	鳥取市内	11月4日(日)	20	13
《歴史講座》因幡三上氏の岩井庄支配と山名氏	博物館講堂	11月10日(土)		35
《歴史講座》明治150年「鳥取こちずぶらり」でまち歩き―近代編―	鳥取市内	11月11日(日)	8	8
《歴史講座》伯耆往来をあるく(浦安～赤碕)	琴浦～大山町内	11月18日(日)	20	20
《歴史講座》近世梵鐘銘から中世因幡の歴史を探る	博物館会議室	12月8日(土)	20	26
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月23日(日)	40	18
《歴史講座》明治42年の章駄天たち	博物館会議室	1月19日(土)	20	18
《連携講座》古文書講座―中世文書に見る鳥取の武家・寺社―	博物館会議室	2月10日(日)	20	15
《歴史講座》炉から見る鳥取の縄文遺跡	博物館会議室	2月10日(日)		19
《連携講座》古文書講座―中世文書に見る鳥取の武家・寺社―	博物館会議室	2月17日(日)	20	10
《歴史講座》鳥取地域史研究会記念講演会「室町期の山名氏と因幡・伯耆」	博物館講堂	2月24日(日)		74
《歴史講座》鳥取藩寺村方日記について	博物館会議室	3月9日(土)	20	28
《連携講座》古文書講座―鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月10日(日)	20	15
《連携講座》古文書講座―鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月17日(日)	20	15
《歴史講座》伯耆往来をあるく(赤碕～下市)	琴浦町内	3月24日(日)	20	17
合 計 36 回				1,140

● 美術部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《バックヤードツアー》もっと博物館を知ろう！館内バックヤードツアー	会議室他（館内全域）	4月7日(土)	10	11
《ギャラリートーク》刀剣研師による特別解説	博物館展示室	4月14日(土)		33
《アートシアター》新日曜美術館シリーズ 北斎と広重同時代を生きた天才たち	博物館講堂	4月21日(土)	250	54
《ワークショップつくり隊！のワークショップ》投げて描こう！	博物館地下バックヤード	4月28日(土)		42
《ワークショップつくり隊！のワークショップ》キラキラマントで変身！	博物館会議室	5月5日(土)		51
《アートシアター》≡草間彌生わたし大好き	博物館講堂	5月12日(土)	100	42
《アートシアター》匠の世界シリーズ刀剣編	博物館講堂	5月19日(土)	250	14
《館外普及事業》コレクション宅配便in倉吉淀屋	倉吉淀屋	5月26日(土)		98
《ワークショップ》カエルになろう！	博物館会議室	6月2日(土)	10	20
《ギャラリートーク》コレクション展Ⅰ	博物館展示室	6月9日(土)		6
《アートセミナー》1950年代を考える	博物館会議室	6月16日(土)		15
《アートシアター》匠の世界シリーズ陶芸編 特集上映	博物館講堂	6月23日(土)	250	17
《ワークショップつくり隊！のワークショップ》色水であそぼ！	博物館前庭	6月30日(土)		82
《アートシアター》オラファー・エリアソン 視覚と知覚	博物館講堂	7月7日(土)	250	6
《アートシアター》オラファー・エリアソン 視覚と知覚	博物館講堂	7月14日(土)	250	12
《ワークショップ》Moving うごきとかたち	博物館会議室	7月21日(土)		40
《ワークショップ》化石でフロッタージュ	博物館会議室	7月21日(土)	20	8
《ワークショップ》手づくりうちわで暑さを吹き飛ばせ！	博物館会議室	8月4日(土)	20	12
《ワークショップ》泥でアート！	博物館地下バックヤード	8月11日(土)		42
《館外普及事業》もっと博物館を知ろう！館内バックヤードツアー	博物館地下バックヤード	8月18日(土)	10	10
《ギャラリートーク》移動美術館・若桜展 橋本與家木版画展 - 日本の城を訪ねて -	若桜郷土文化の里たくみの館	8月25日(土)		7
《ギャラリートーク》コレクション展Ⅲ 新収蔵品展Ⅲ 版画・彫刻・工芸	博物館展示室	9月1日(土)		7
《アートシアター》謎の天才画家 ヒエロニムス・ボス	博物館講堂	9月8日(土)	250	30

《アートシアター》謎の天才画家 ヒエロニムス・ボス	博物館講堂	9月15日(土)	250	53
《講演会・トークセッション》テーマ展示2「生誕100年 山本兼文展」関連企画 彫刻家と巡る鳥取市内野外彫刻散策会～山本兼文の作品を中心に～	鳥取市内	9月22日(土)	10	15
《ワークショップ》アートの種まきプロジェクト オープンミーティング「鳥取県立美術館ができるまで」を、伝える、新たなメディアを考える。	倉吉市 上灘公民館	9月29日(土)	20	28
《ギャラリートーク》はじめての"とうれい"ー大人編ー	博物館展示室	10月6日(土)		42
《講演会・トークセッション》特別講演会Ⅰ「稲嶺のいた京都	博物館講堂	10月13日(土)	250	54
《講演会・トークセッション》特別講演会Ⅱ「南蘋派から見た土方稲嶺」	博物館講堂	10月20日(土)	250	51
《スペシャルギャラリートーク》稲嶺の魅力を語る	博物館講堂	10月27日(土)		62
《ギャラリートーク》はじめての"とうれい"ーこども編ー	博物館展示室	11月3日(土)		12
《体験型ミニレクチャー》樹軸を巻いてみよう！	博物館会議室	11月10日(土)	10	14
《大人向けワークショップ》結ぶー水引アート de 和の心	博物館会議室	11月17日(土)	15	13
《講演会・トークセッション》企画展「ミュージアムと創造的対話02 空間／経験」出品作家たちによるOpening Special Talk	博物館講堂	11月23日(金)	250	42
《ワークショップ》企画展関連 Workshop 田口行弘「Particles' moment」	博物館展示室	11月24日(土)		18
《ギャラリートーク》テーマ展「生誕百年 山本兼文展」スペシャルギャラリートーク「山本兼文を語る」	博物館展示室	11月24日(土)		32
《ワークショップ》企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	博物館前庭	11月24日(土)		32
《ワークショップ》企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	岩戸海岸海水浴場	11月24日(土)		26
《ギャラリートーク》企画展関連 Open Dialogue 01 学芸員との創造的対話 #01	博物館展示室	12月1日(土)		10
《ワークショップ》企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	憩いの道（米子市立図書館裏広場）	12月8日(土)		38
《ワークショップ》企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	東郷湖畔公園（湯梨浜町旭）	12月9日(日)		65
《ギャラリートーク》企画展関連 Open Dialogue 01 学芸員との創造的対話 #02	博物館展示室	12月15日(土)		5
《ワークショップ》弥生人の脳を見に行くツアー	博物館地下バックヤード	12月22日(土)		12
《ギャラリートーク》企画展関連 Open Dialogue 02 トークイベント	博物館内	12月22日(土)		22
《ギャラリートーク》企画展関連 Open Dialogue03 小山田徹×当館学芸員「観る快楽 愛の視線としての実測図」	博物館展示室	12月23日(日)		46
《ギャラリートーク》企画展関連 Performance 梅田哲也	博物館	12月23日(日)		58
《ワークショップ》弥生人の脳を見に行くツアー	博物館地下バックヤード	12月23日(日)		16
《ワークショップ》企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	大御堂廃寺跡（倉吉市駄経寺町）	12月24日(月)		46
《ワークショップ》弥生人の脳を見に行くツアー	博物館地下バックヤード	12月24日(月)		28
《ワークショップ》ジュニア県展連携ワークショップ お気に入りの1点を見つけよう！	博物館エントランスホール・立体展示スペース	1月12日(土)～ 1月20日(日)		225
《スペシャルアートシアター》ゴッホ～最期の手紙～	博物館講堂	1月19日(土)	250	101
《ギャラリートーク》コレクション展Ⅴー仏教美術を中心に	博物館展示室	1月26日(土)		5
《2週連続スペシャルアートシアター》デヴィット・リンチ・アートライフ	博物館講堂	2月2日(土)	250	30
《2週連続スペシャルアートシアター》デヴィット・リンチ・アートライフ	博物館講堂	2月9日(土)	250	31
《ギャラリートーク》企画展『Our Collections!』学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	2月16日(土)		50
《講演会・トークセッション》企画展『Our Collections!』クロストーク「これからの美術館は何をコレクションするのか？」	博物館講堂	2月23日(土)	250	30
《ギャラリートーク》企画展『Our Collections!』学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	3月2日(土)		22
《講演会・トークセッション》企画展『Our Collections!』スペシャルトークセッション「地方都市と現代美術」	博物館講堂	3月9日(土)	250	32
《ワークショップつくり隊！》による《ワークショップ》てづくり水引でお祝い	博物館会議室	3月16日(土)		24
《アートシアター》プライスコレクションDVD 若沖と江戸絵画	博物館講堂	3月23日(土)	250	15
《ワークショップ》アートの種まきプロジェクト(＝新しい美術館のためのワークショッププログラム)「美術館ができるまで」を伝えるためのフリーペーパーをつくる。ー記事作成のためのミーティング	倉吉未来中心セミナールーム7	3月30日(土)	20	16
合 計 61 回				2,080
総参加者数				8,787

エ 調査研究活動

分野	事項
地 学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動 物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植 物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考 古	縄文土器製作技術の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴 史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県内の戦争遺跡に関する調査研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究
民 俗	鳥取県内の狛犬に関する調査研究 鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究 大山の信仰に関する調査研究
美 術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 平成30年度企画展（「土方稲嶺展」「ミュージアムとの創造的対話 vol.2」「Our Collections展」等）および平成31年度企画展（「ニューヨークアートシーン展」「生誕120年 塩谷定好とその時代」「生誕100年 國領経郎展」等）に関する調査
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

2.8 博物館資料保有状況

(単位：点)

区分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地学	8,120		11					8,131
動物	26,460		618	3			5	27,076
植物	55,520	2		17				55,539
歴史	54,085	34	2					54,121
近現代資料	7,435	10	367					7,812
民俗	3,735		31					3,766
考古	8,272	6						8,278
美術	9,581	18	15					9,614
合計	173,208	70	1,044	20	0	0	5	174,337